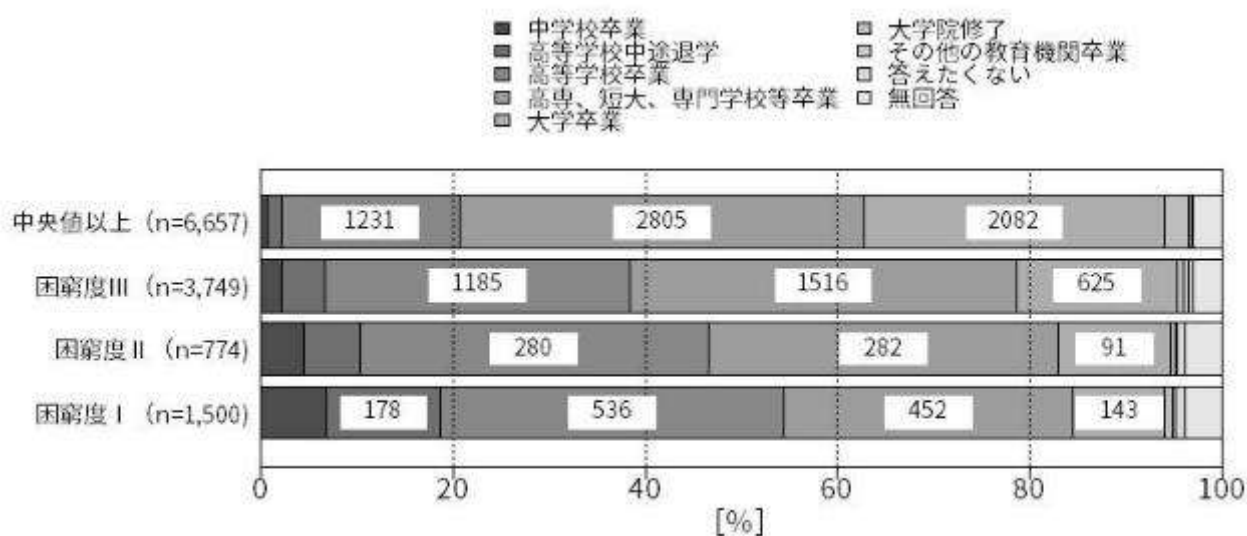


困窮度別に見た、母親の最終学歴（問 7-母）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

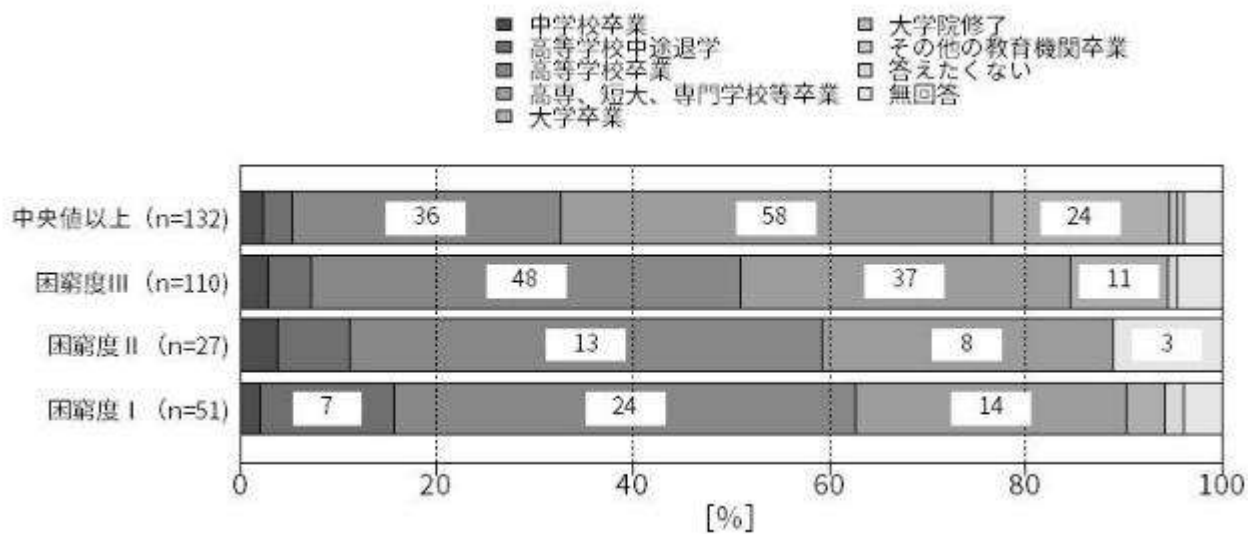
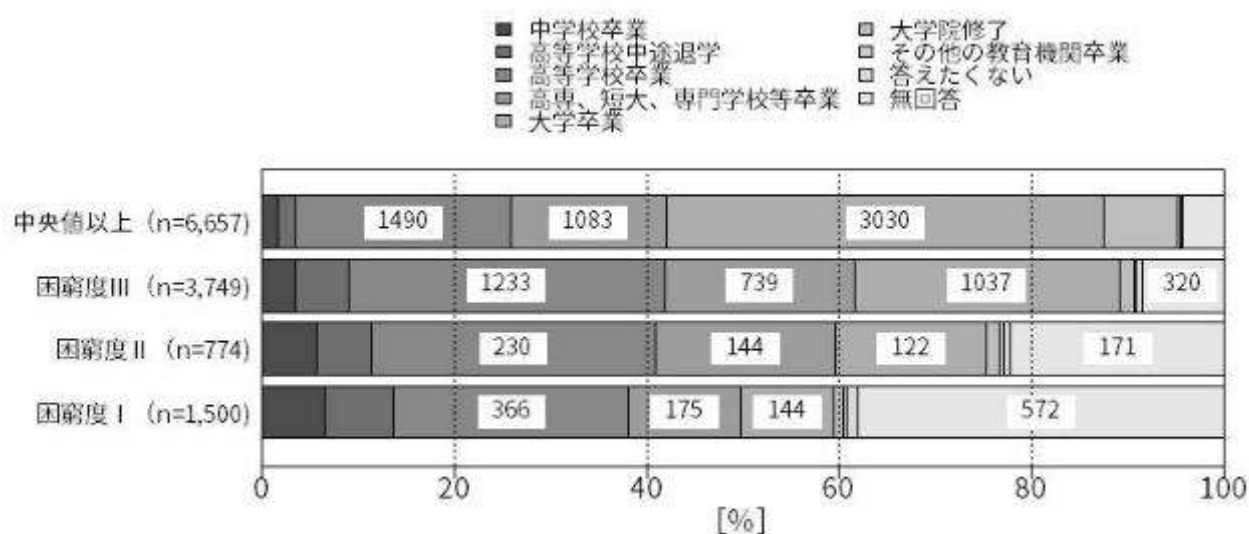


図 110. 困窮度別に見た、母親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で「中学校卒業」は2.0%、「高等学校中途退学」は13.7%であった。

困窮度別に見た、父親の最終学歴（問 7-父）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

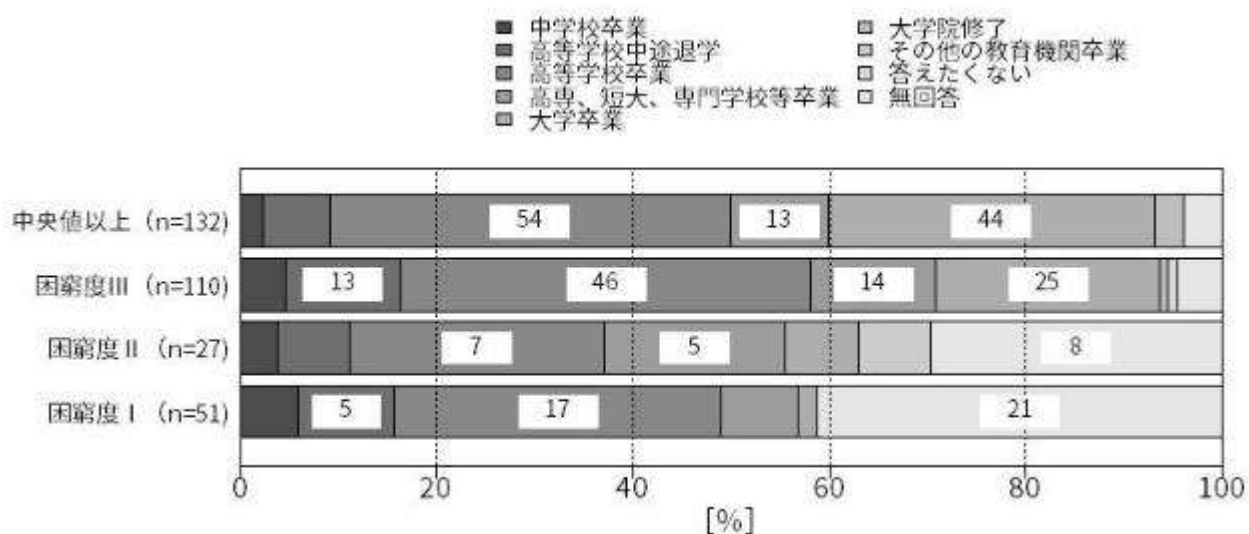
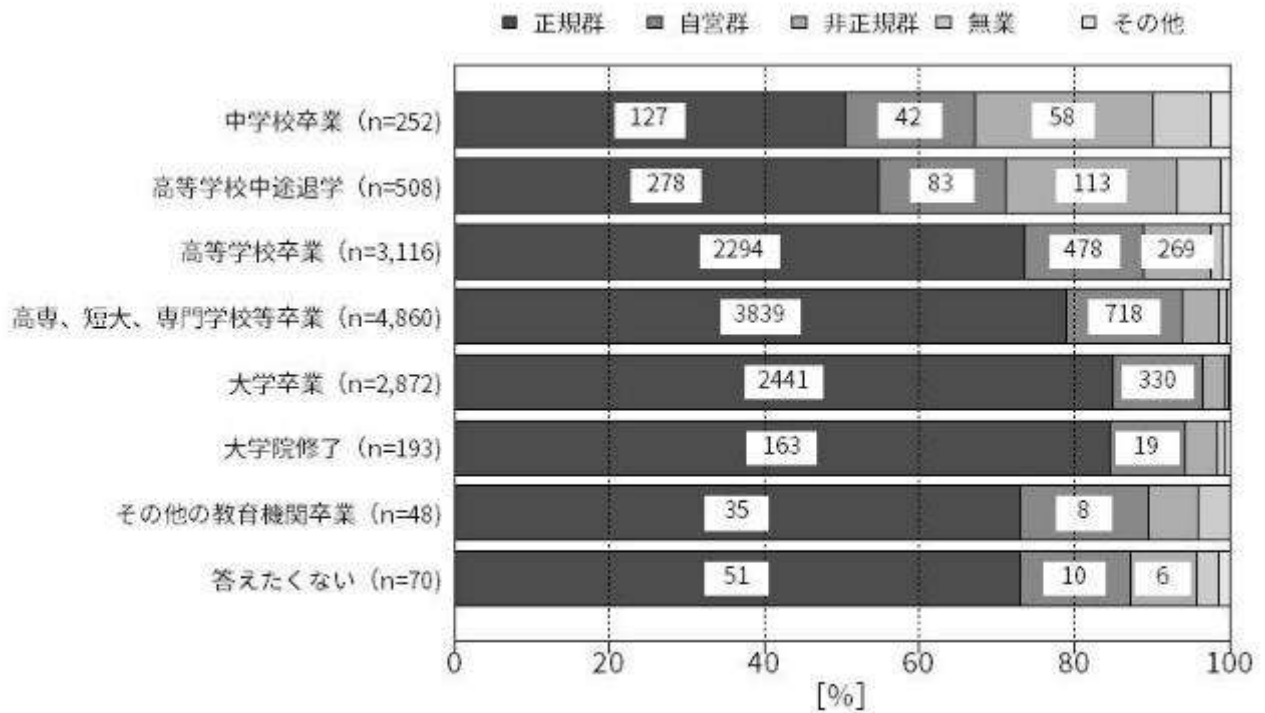


図 111. 困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で「中学校卒業」は 5.9%、「高等学校中途退学」は 9.8%であった。

母親の最終学歴別に見た、就労状況（問 7×問 8）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

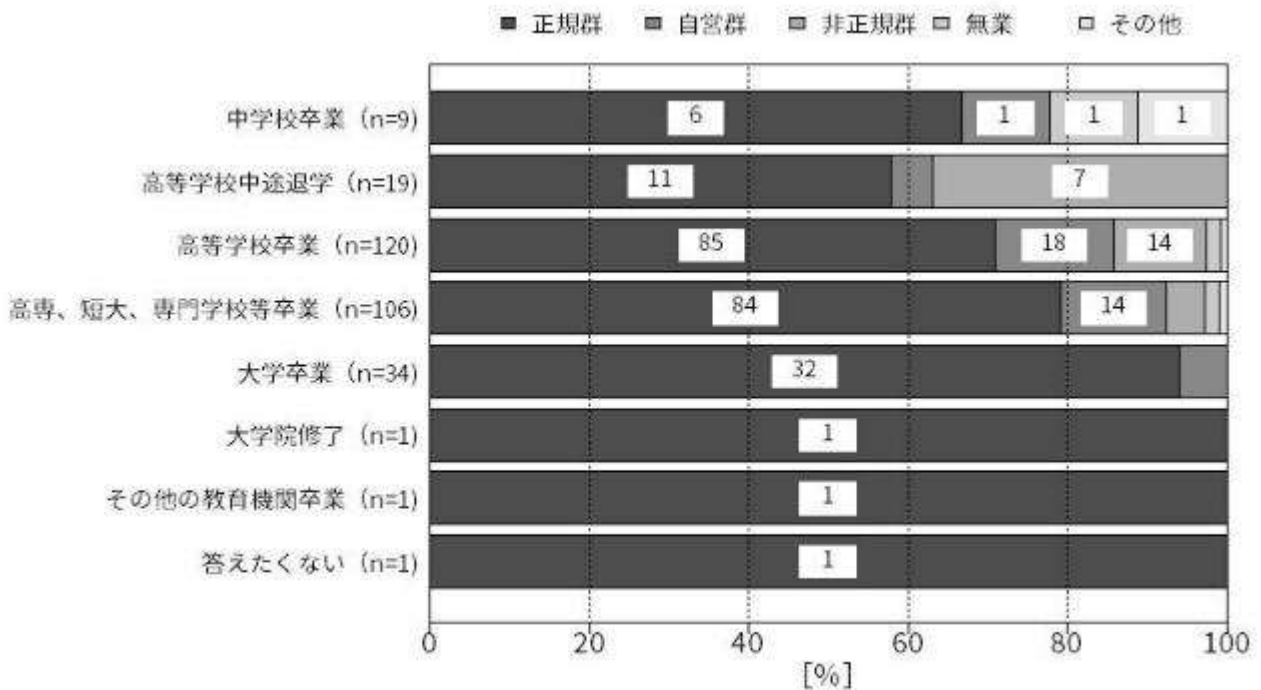
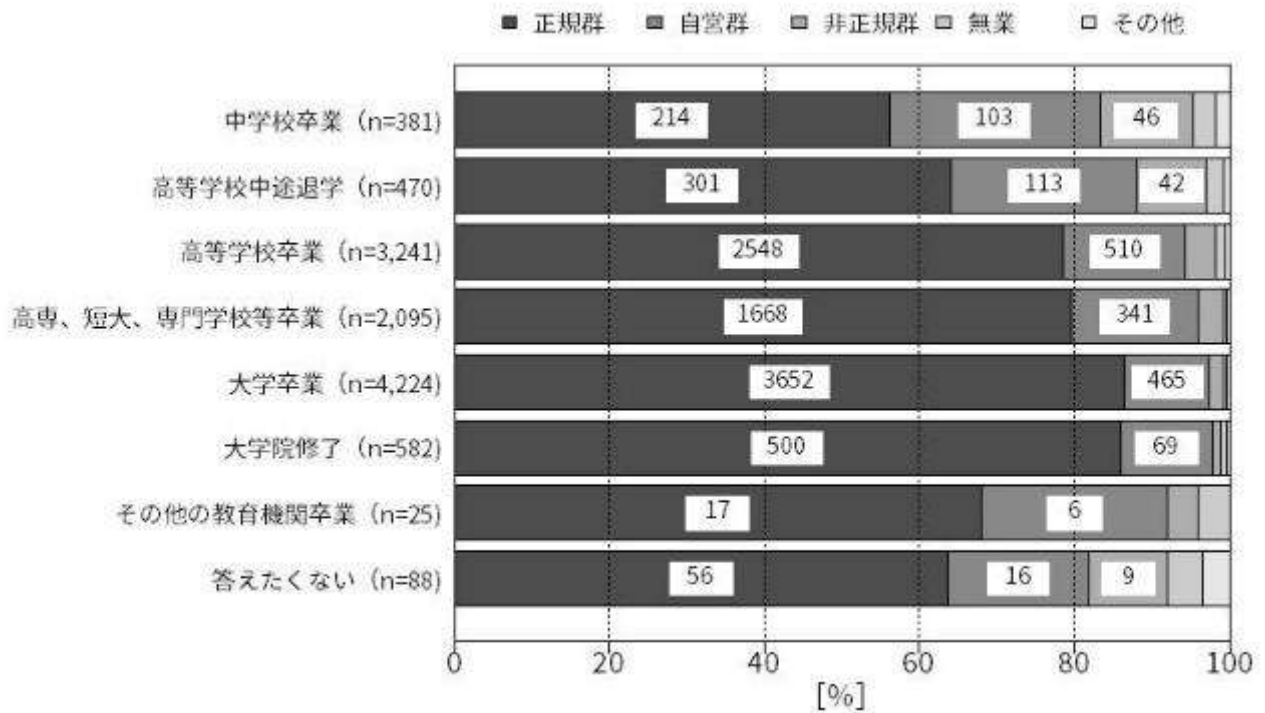


図 112. 母親の最終学歴別に見た、就労状況

中学校卒業では、正規群の割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。

父親の最終学歴別に見た、就労状況（問7×問8）

<大阪市24区>



<大阪市大正区>

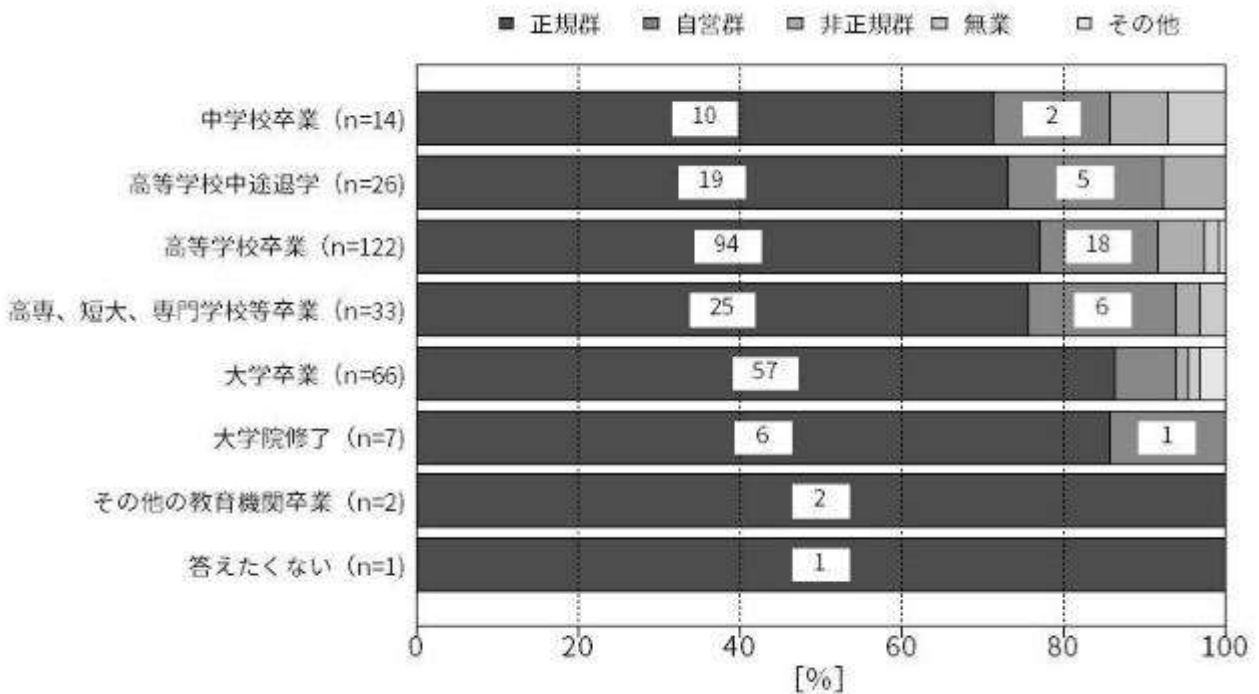
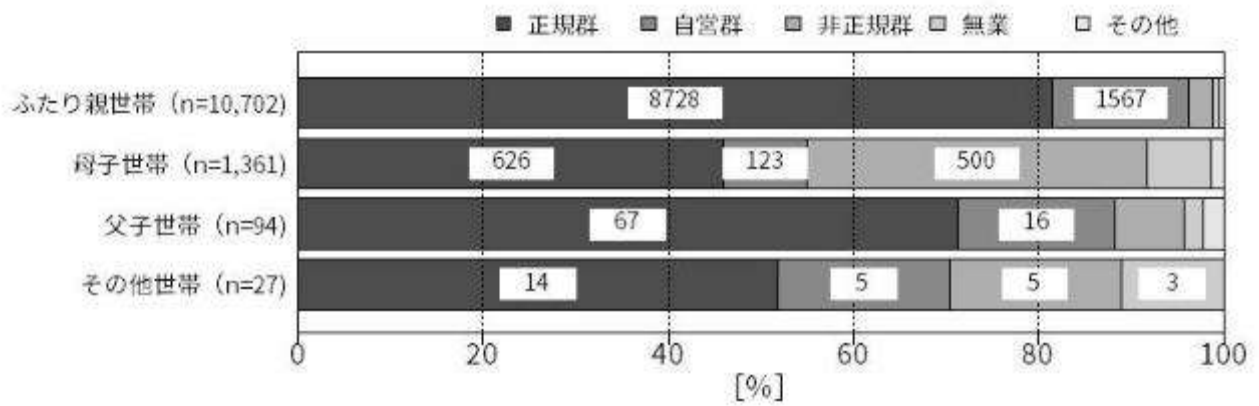


図 113. 父親の最終学歴別に見た、就労状況

中学校卒業では、正規群の割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。

世帯構成別に見た、就労状況（問1×問8）

<大阪市24区>



<大阪市大正区>

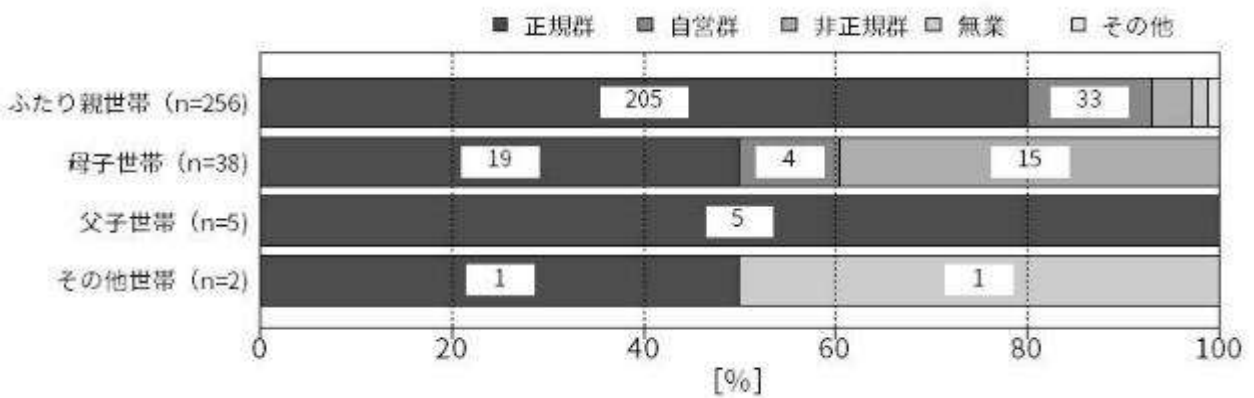
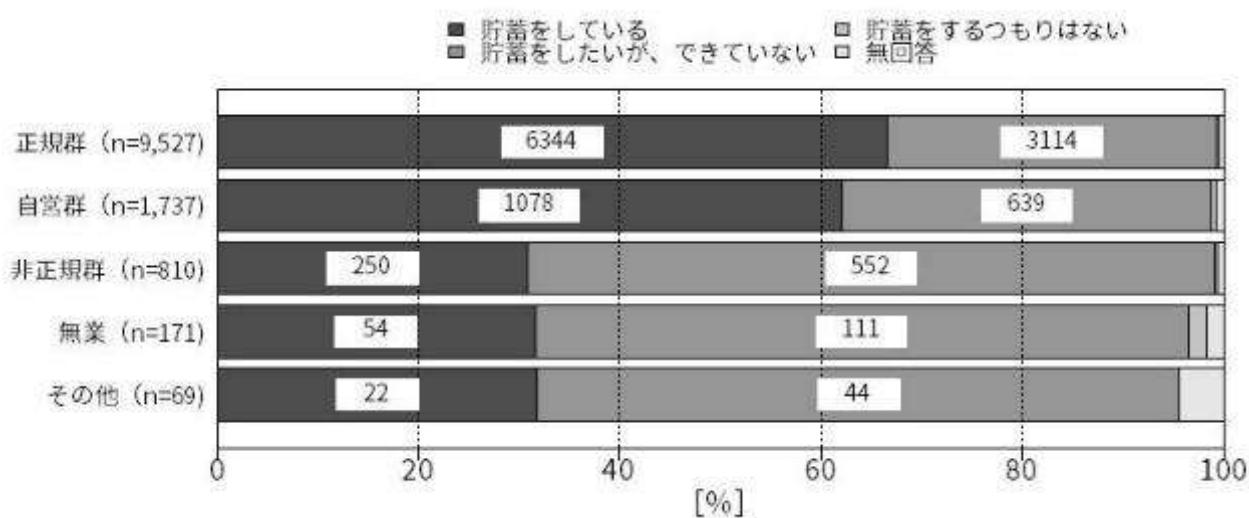


図 114. 世帯構成別に見た、就労状況

ふたり親世帯では、正規群の割合が高かった。母子世帯では、50.0%であった。

就労状況別に見た、子どものための貯蓄（問 8×問 5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

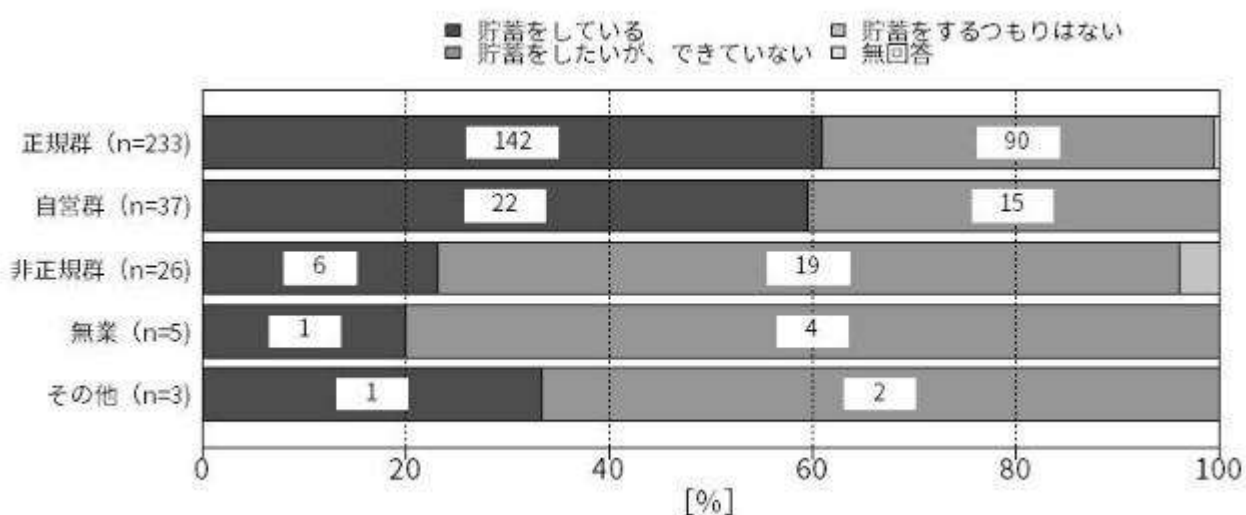
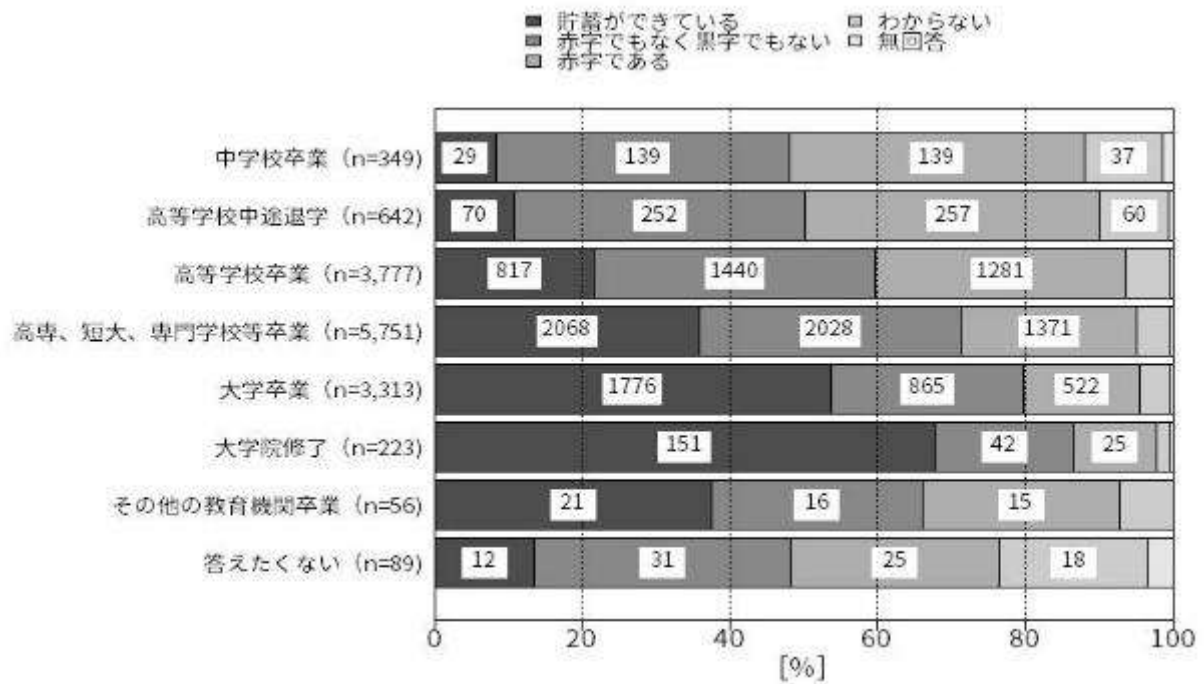


図 115. 就労状況別に見た、子どものための貯蓄

正規群では貯蓄ができている割合が高く、非正規群では貯蓄できている割合が低くなる傾向にあり、それぞれ 23.1%、20.0%であった。

母親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市大正区>

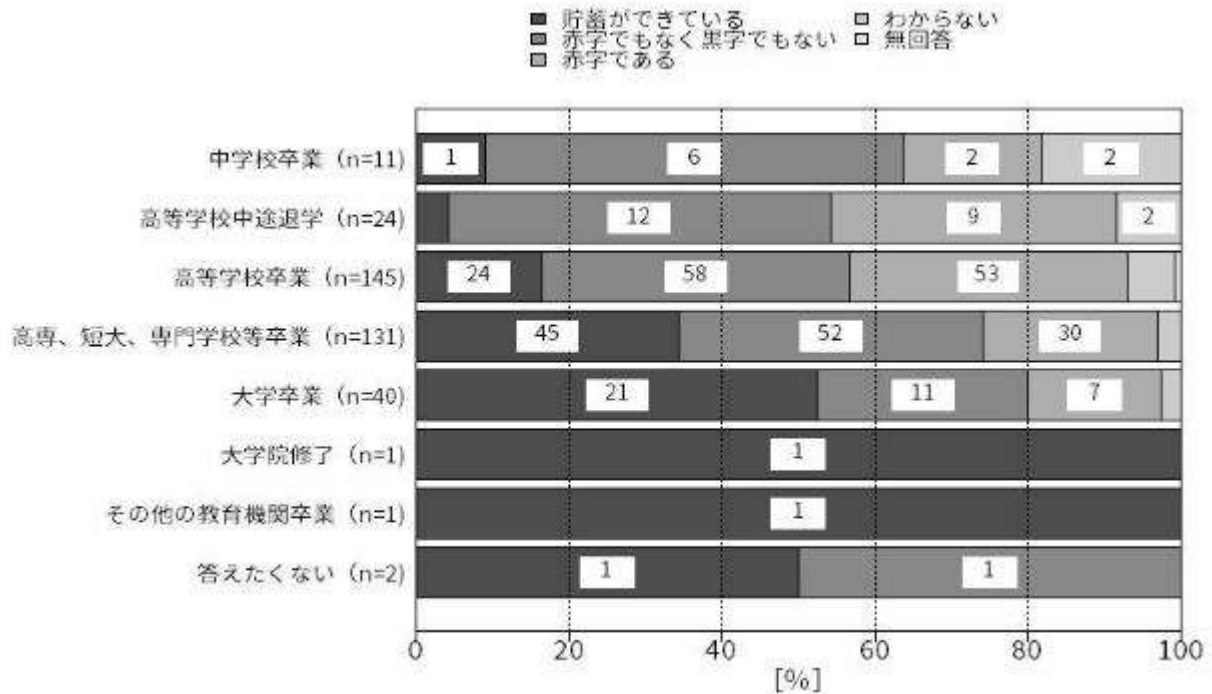
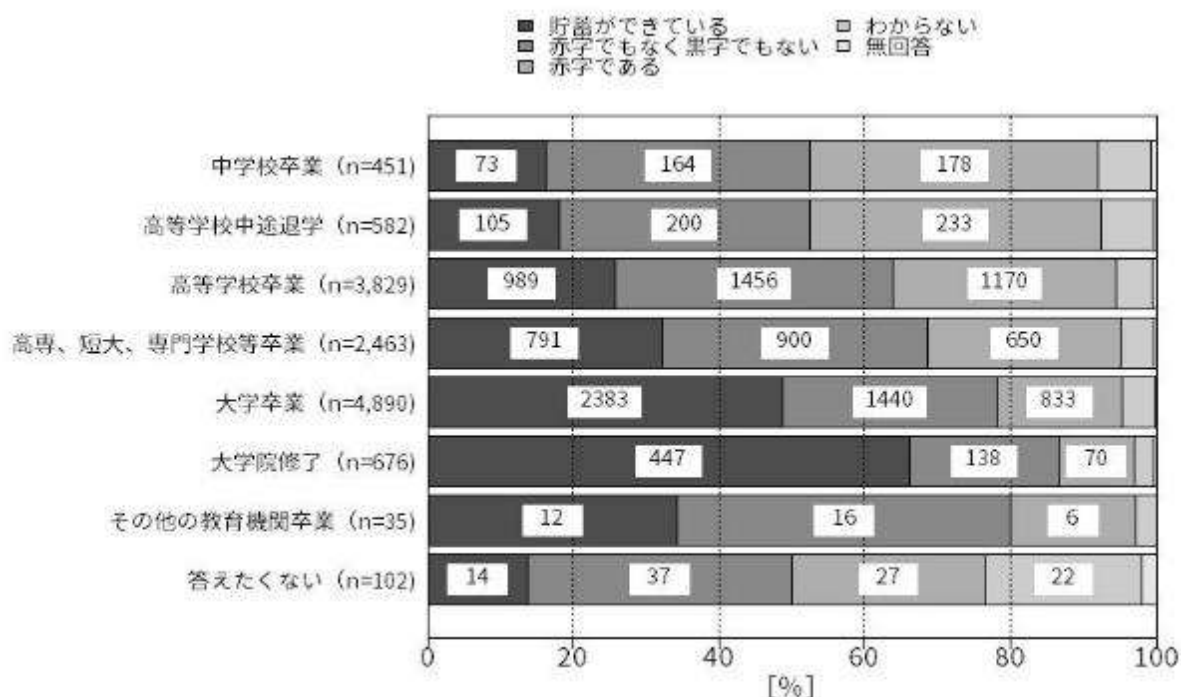


図 116. 母親の最終学歴別に見た、家計状況

中学校卒業、高等学校中途退学では、貯蓄ができていない割合が低い傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができていない割合が高く、赤字である割合が低くなる。

父親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市大正区>

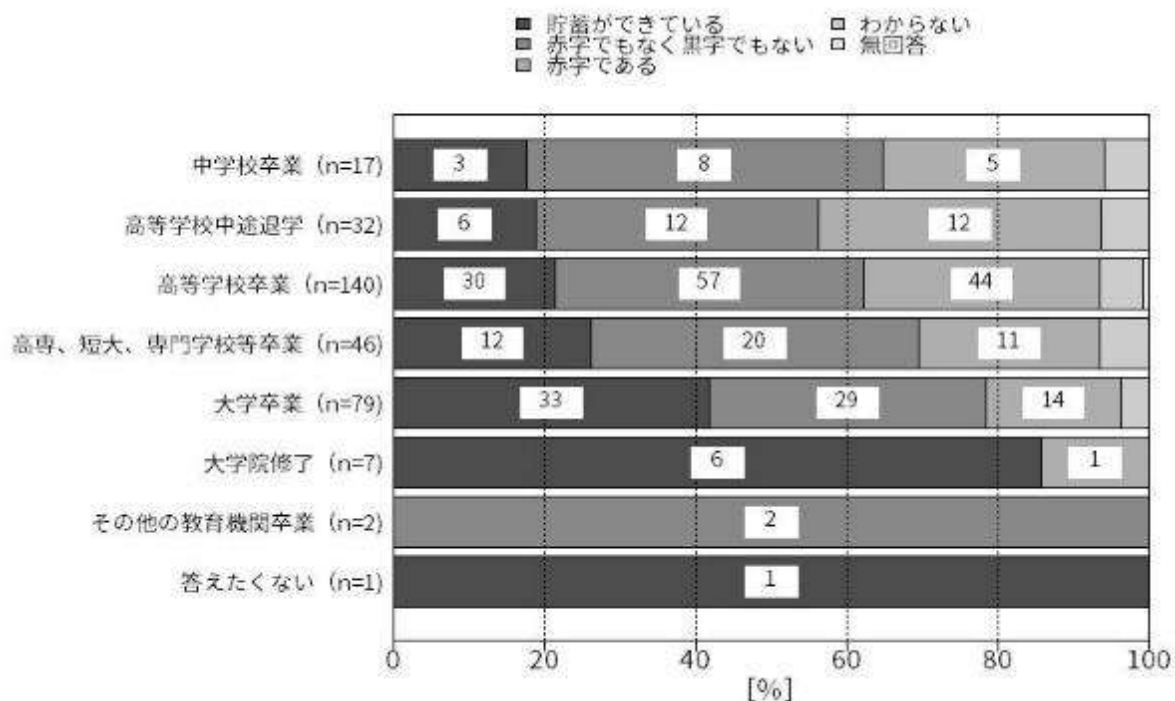
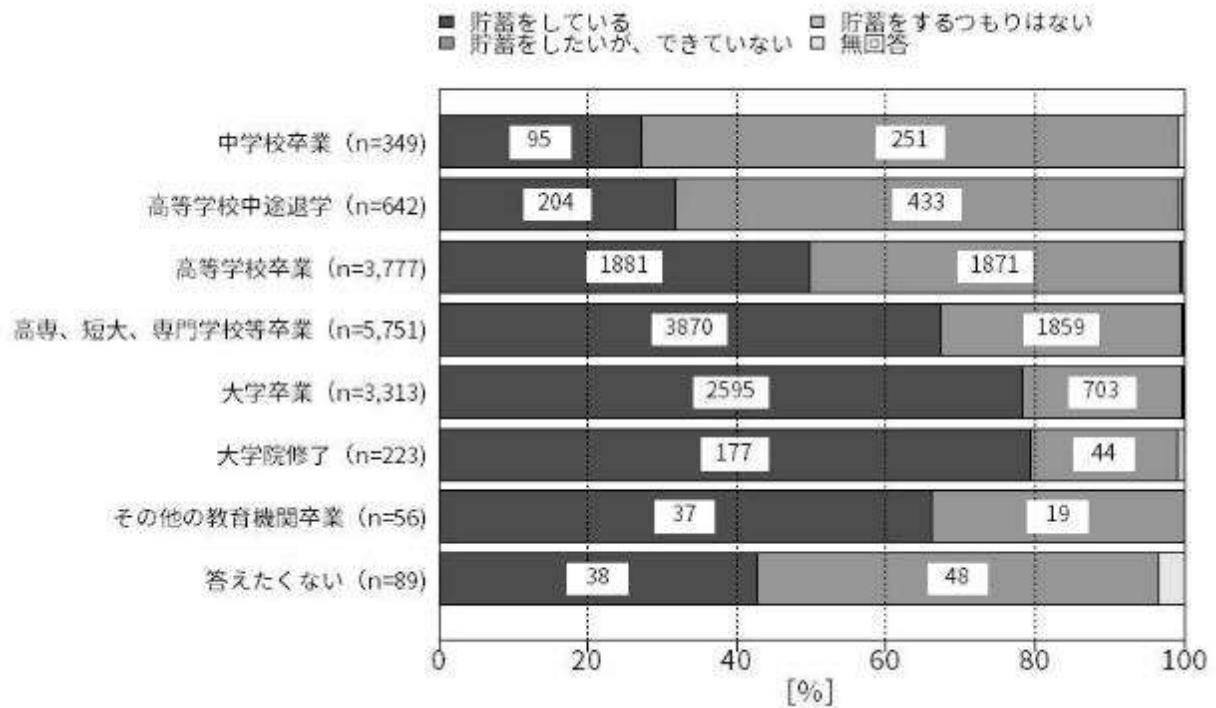


図 117. 父親の最終学歴別に見た、家計状況

中学校卒業、高等学校中途退学では、貯蓄ができていない割合が低い傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができていない割合が高く、赤字である割合が低くなる。

母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問7×問5-3）

<大阪市24区>



<大阪市大正区>

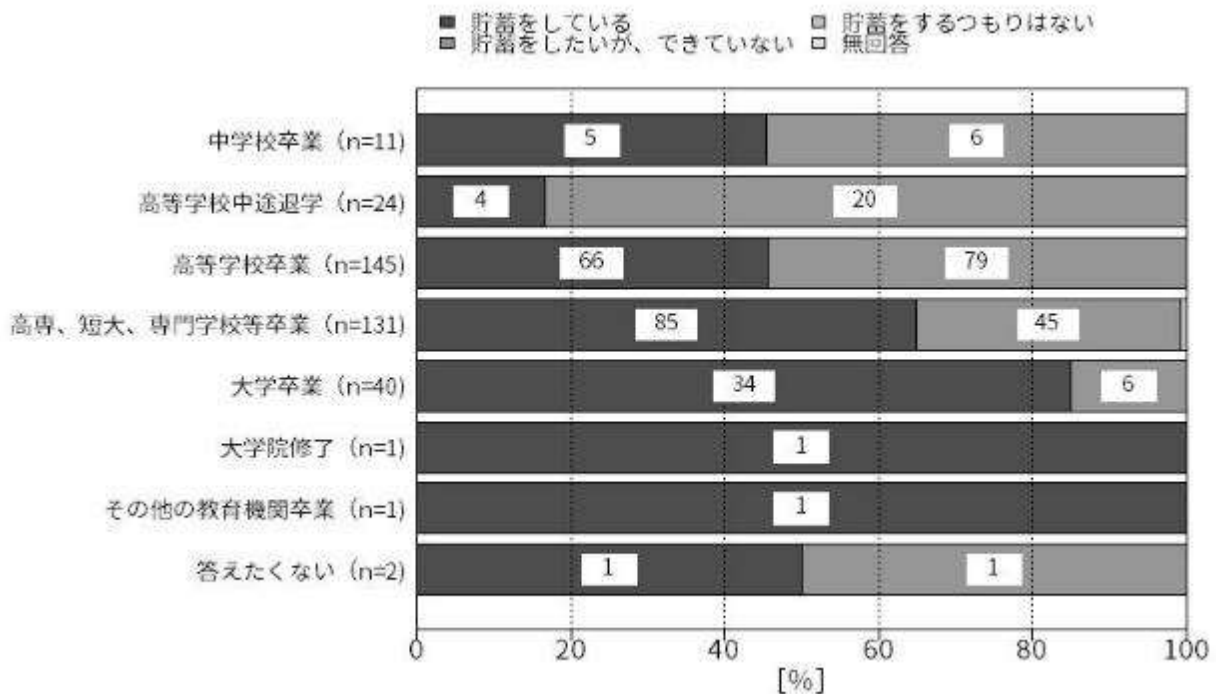
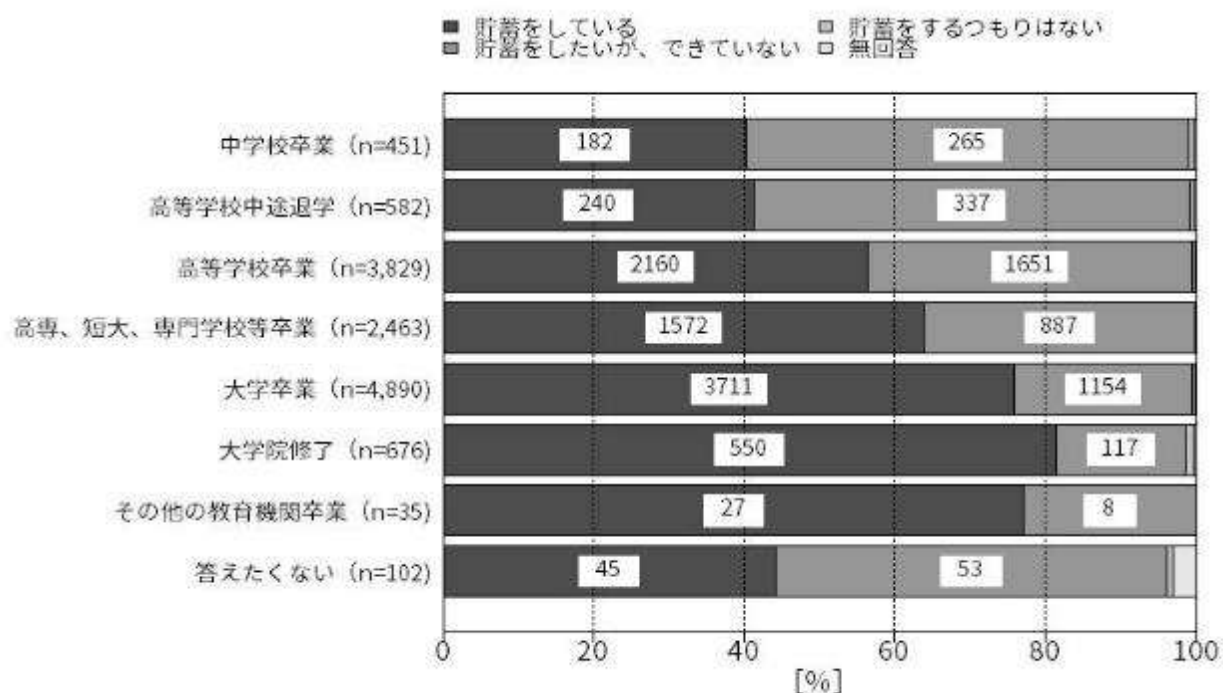


図 118. 母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものための貯蓄ができている割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問 7×問 5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

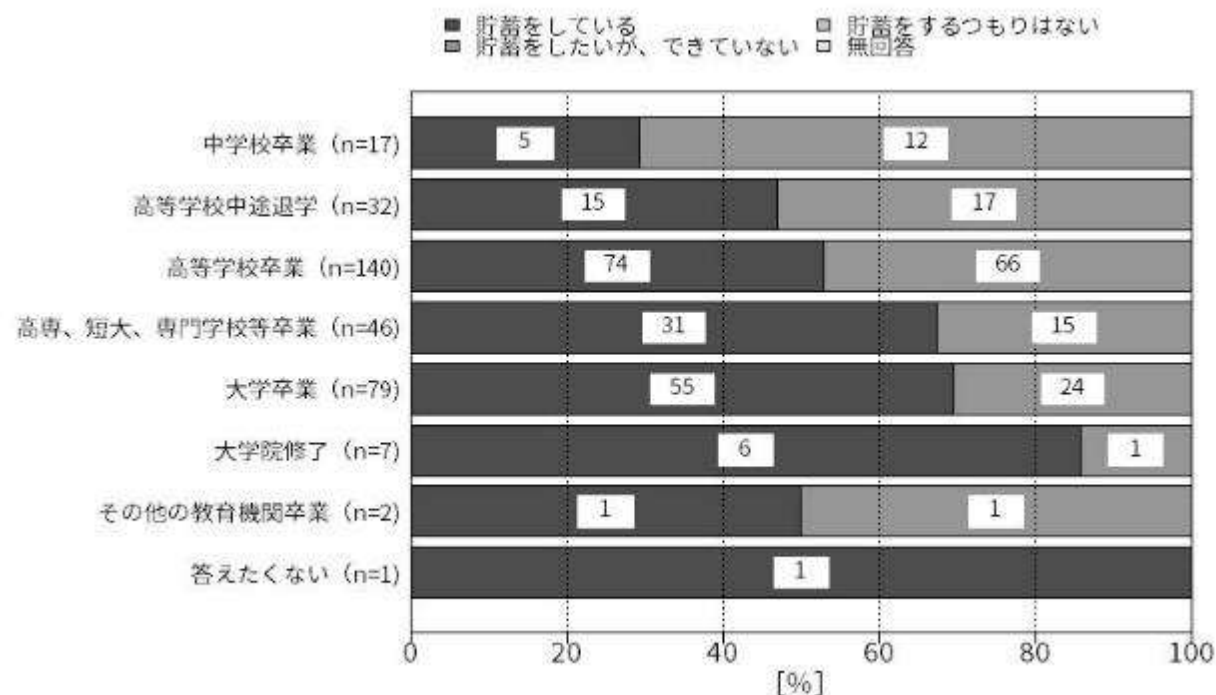


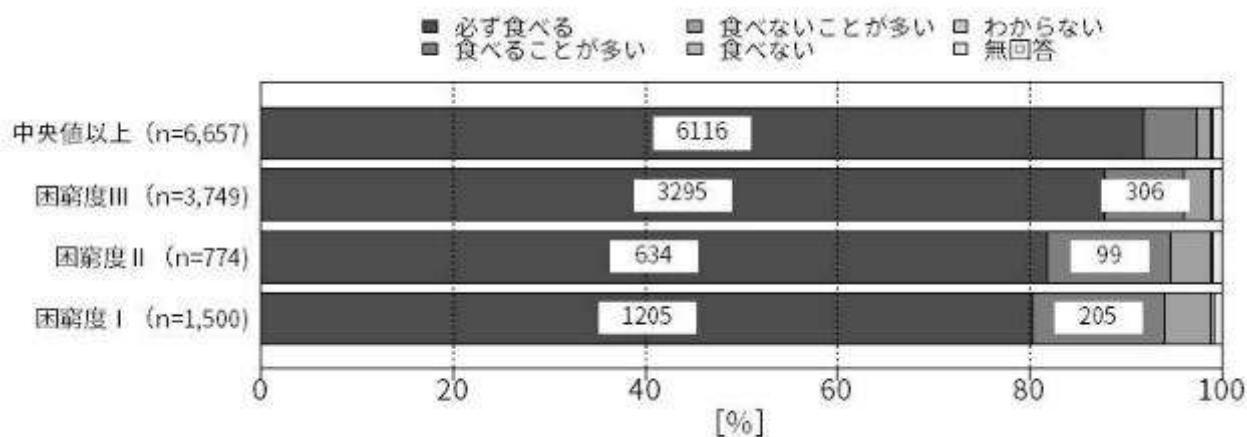
図 119. 父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものために貯蓄ができている割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（問 17）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

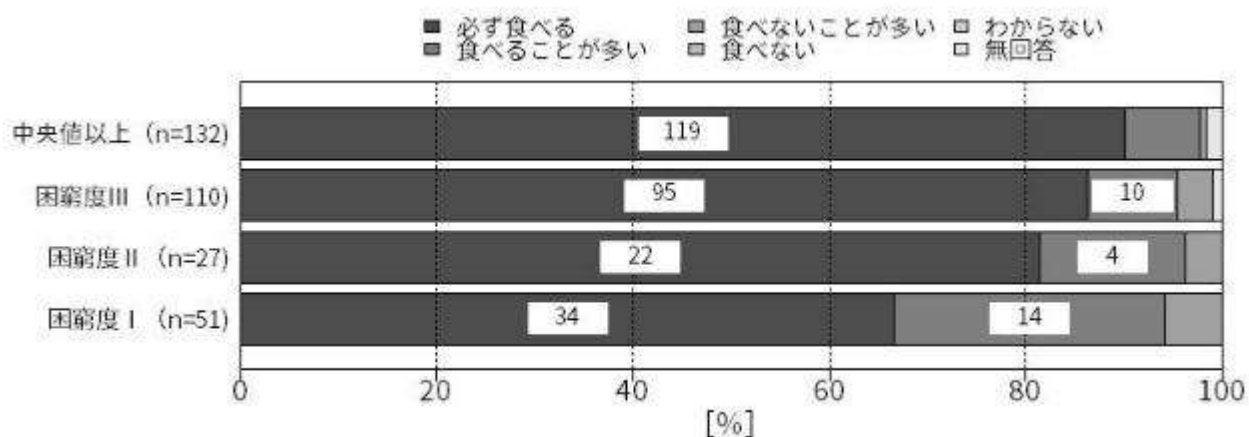
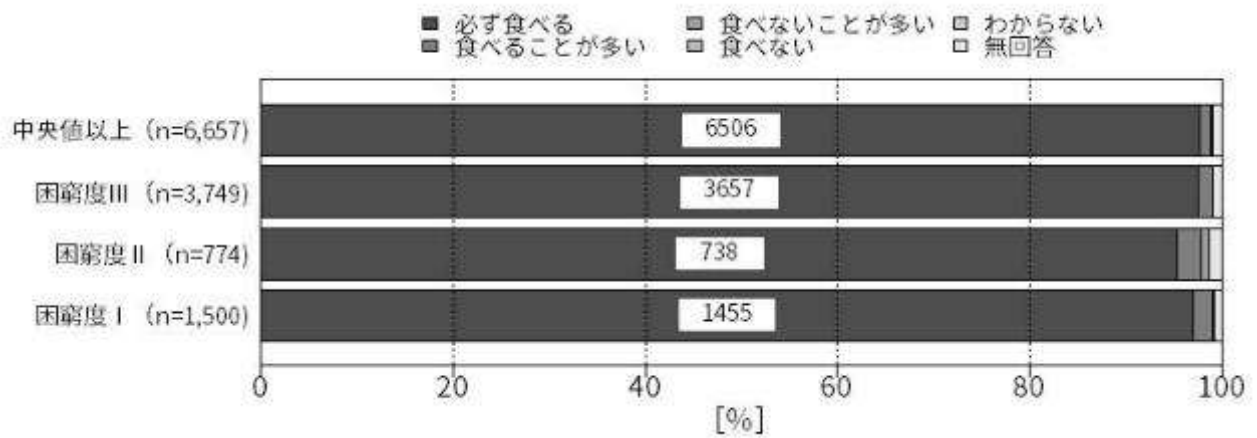


図 120. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、「必ず食べる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 66.7%となっている。

困窮度別に見た、夕食の頻度（問 20）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

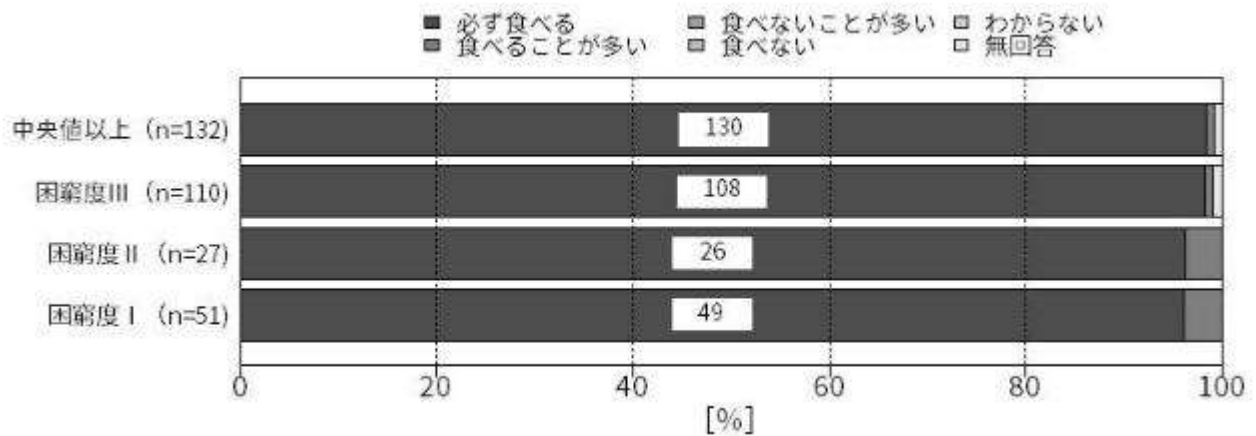
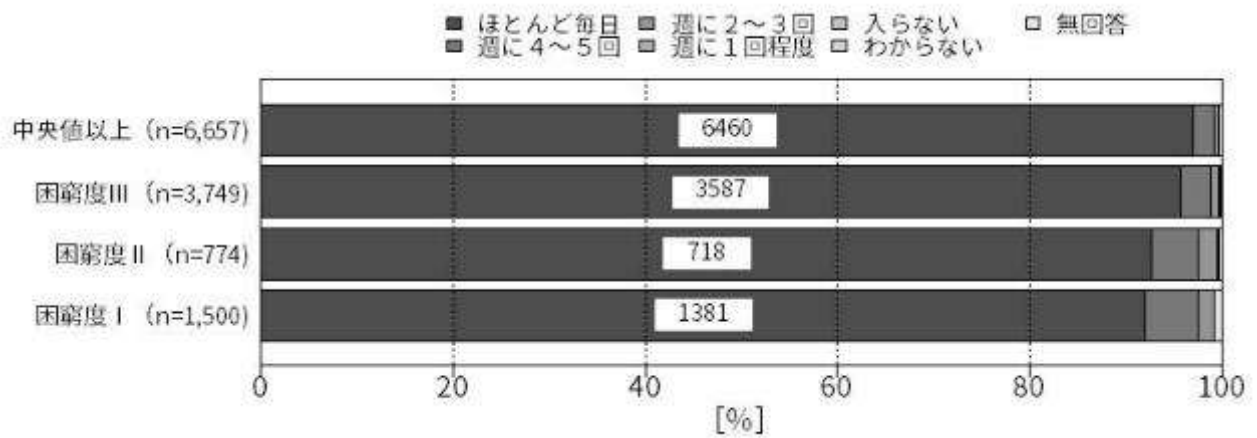


図 121. 困窮度別に見た、夕食の頻度

困窮度Ⅱ群・困窮度Ⅰ群では「必ず食べる」がわずかに低い傾向にある。

困窮度別に見た、入浴頻度（問 23）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

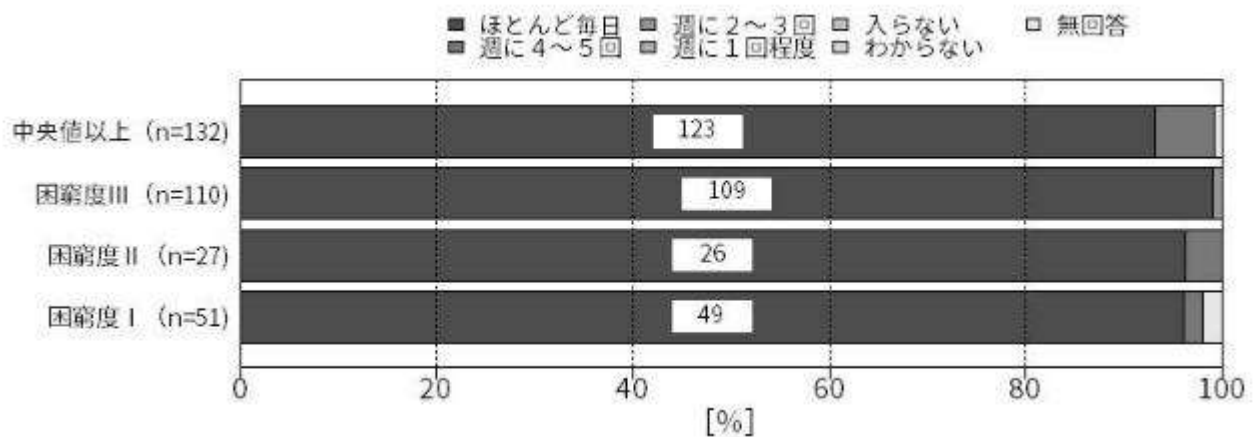
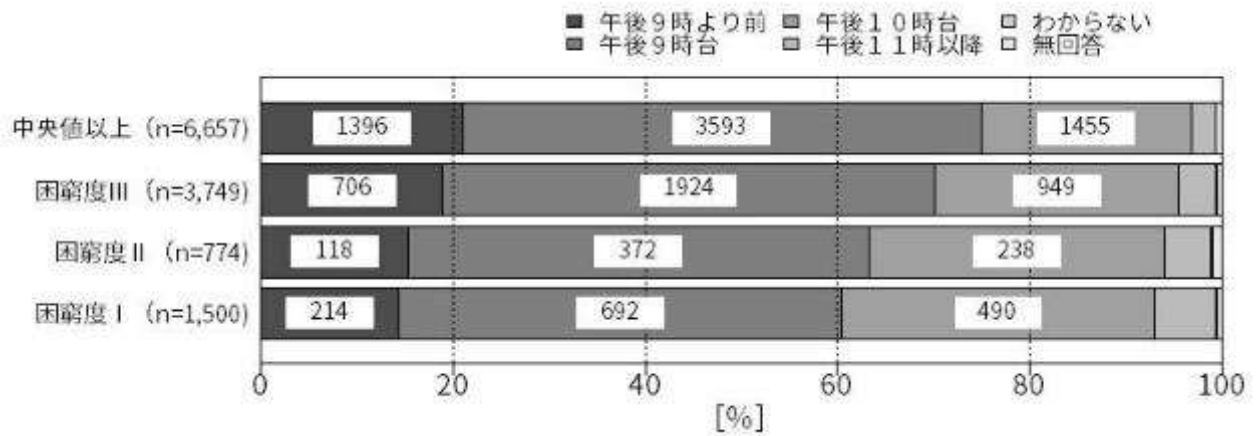


図 122. 困窮度別に見た、入浴頻度

いずれの群においてもお風呂にほとんど毎日入る頻度が低い傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては96.1%となっている。

困窮度別に見た、就寝時間（問 16）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

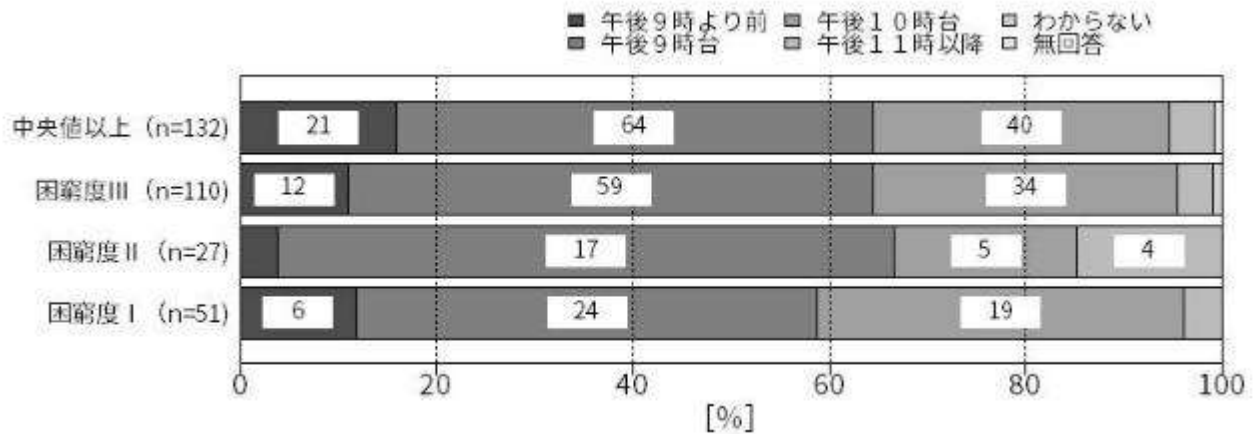
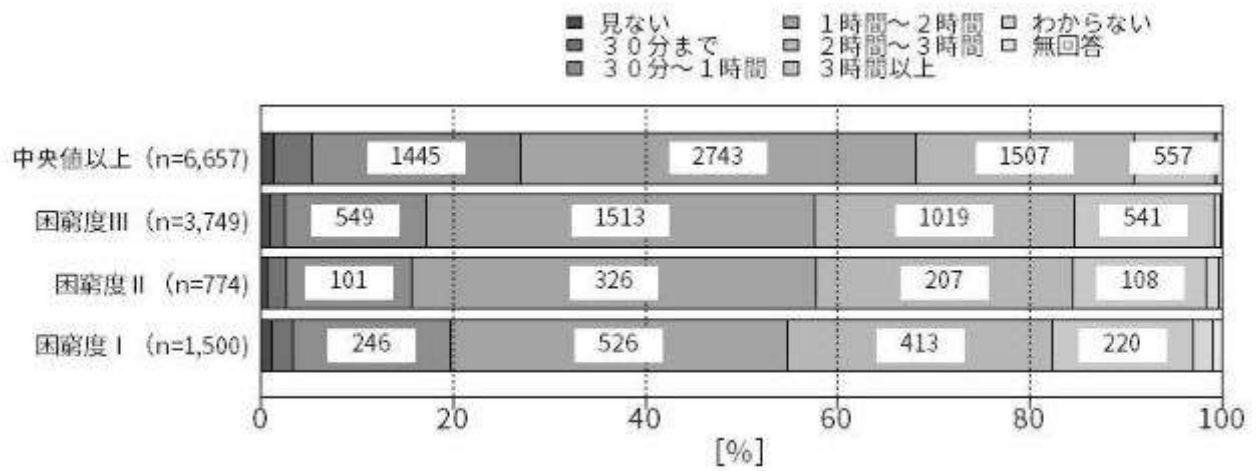


図 123. 困窮度別に見た、就寝時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、就寝時間が遅くなる傾向にあった。、困窮度Ⅰ群においては午後10時台と回答した割合がやや高く、37.3%となっている。

困窮度別に見た、テレビ視聴時間（問 24）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

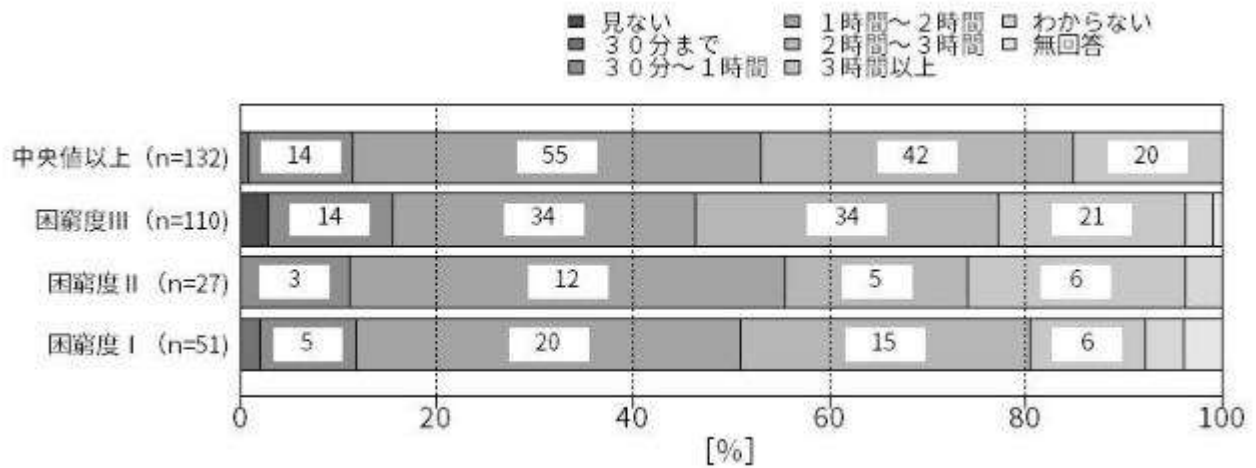
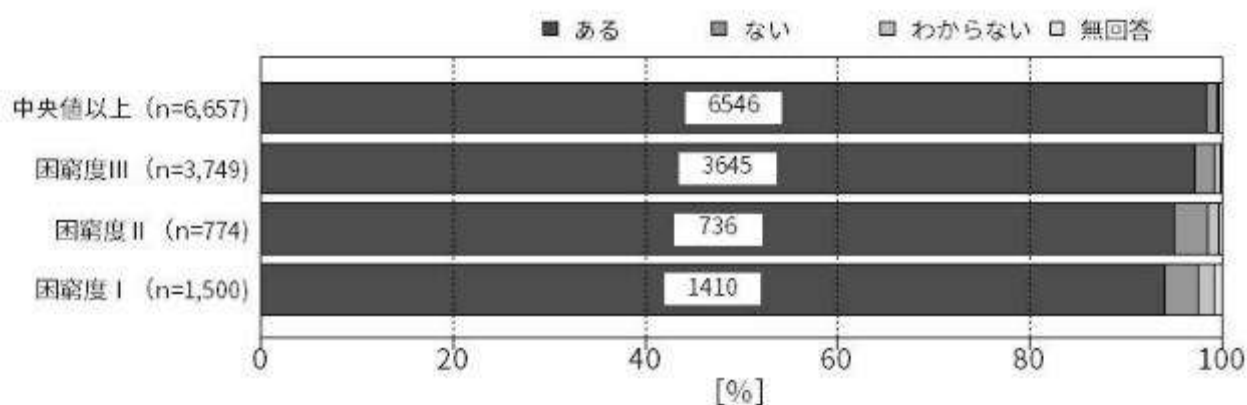


図 124. 困窮度別に見た、テレビ視聴時間

困窮度によって大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、歯磨きの習慣（問 25）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

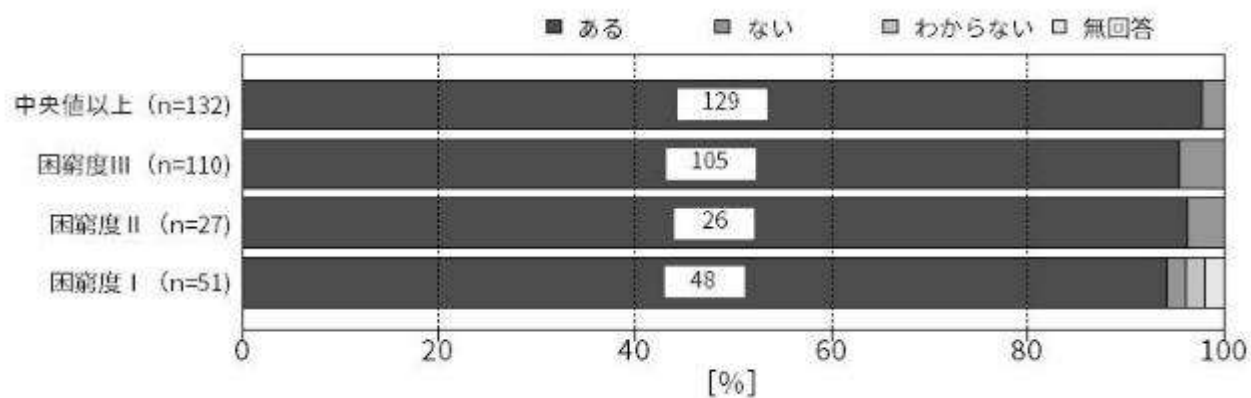
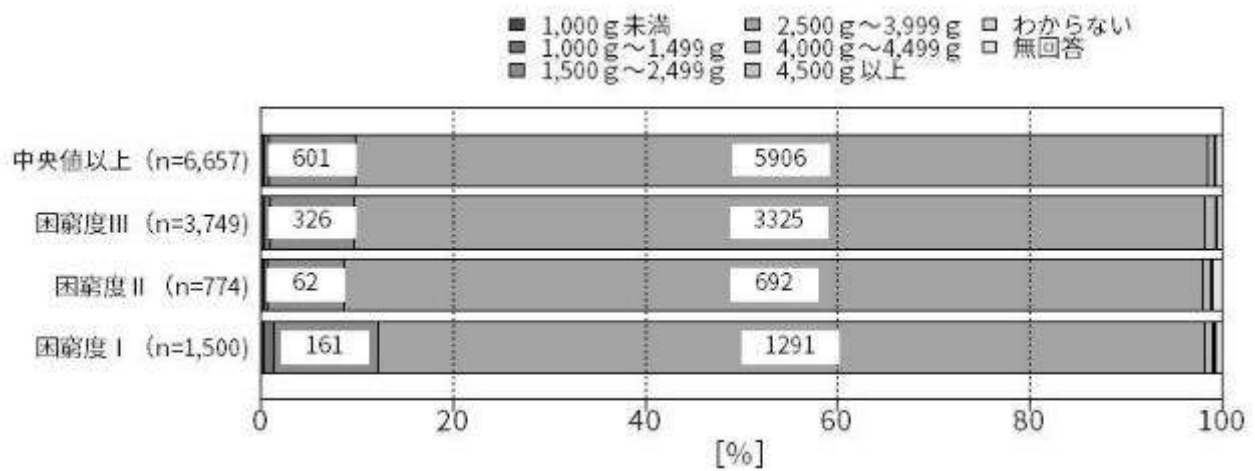


図 125. 困窮度別に見た、歯磨きの習慣

困窮度が厳しくなるにしたがって、歯磨きの習慣が「ある」の割合が低くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、出生時体重（問 11）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

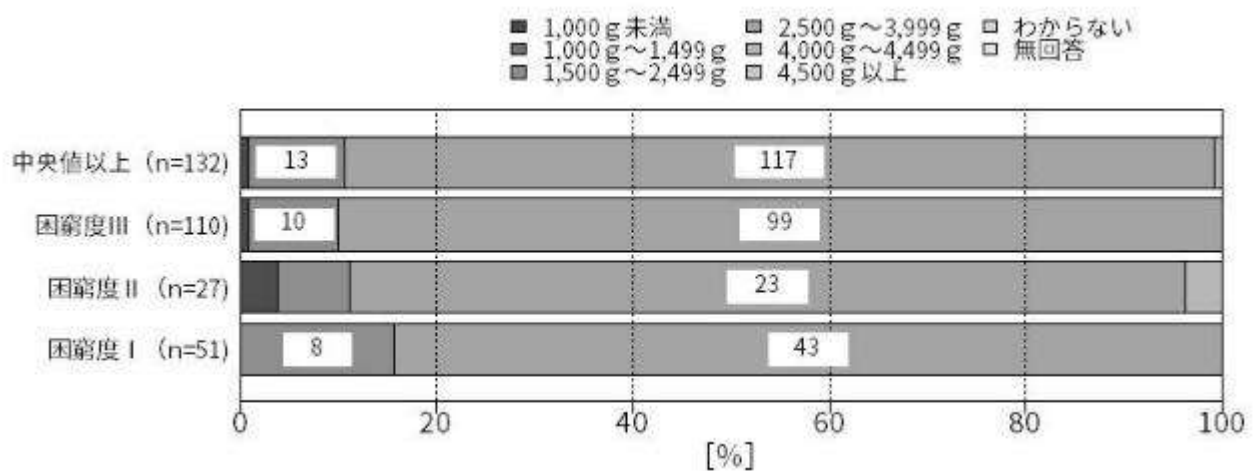
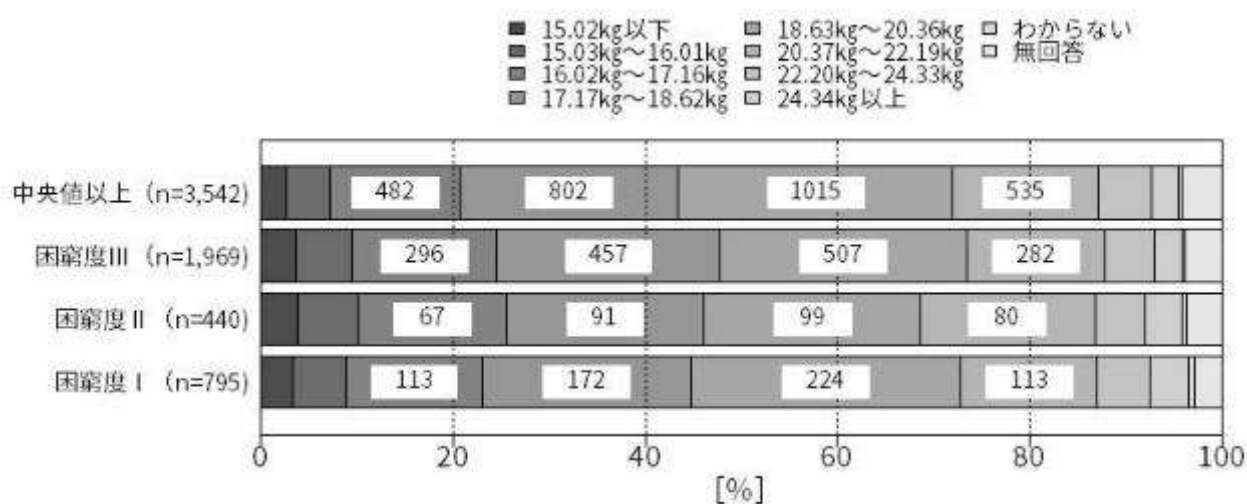


図 126. 困窮度別に見た、出生時体重

困窮度が厳しくなるにしたがって、出生時の体重が低くなる傾向にあった。困窮度Ⅰ群において「1,000 g ～1,499 g」「1,500 g ～2,499 g」と回答した割合は合計 15.7%であった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市大正区＞

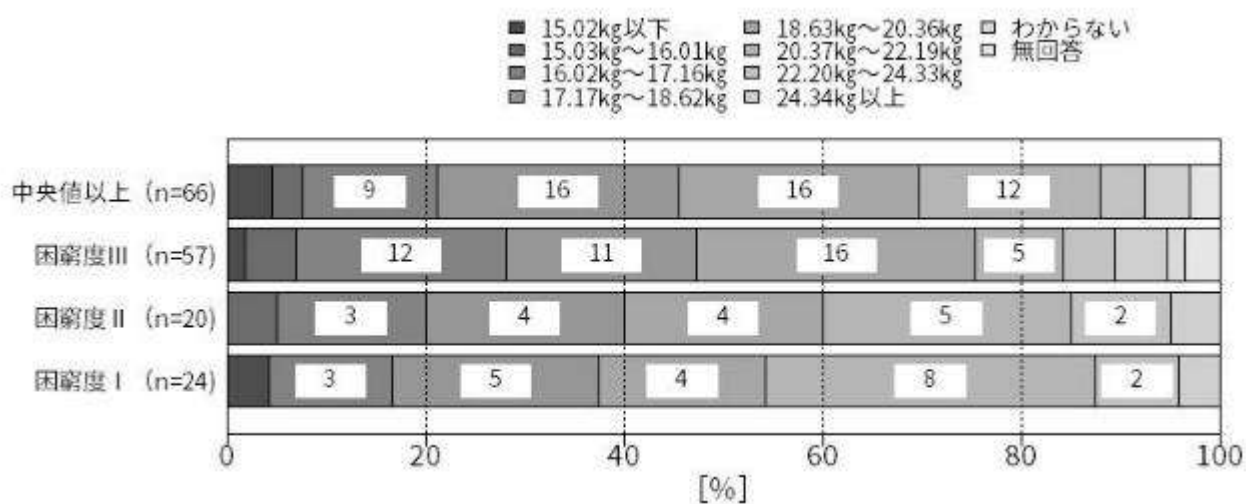
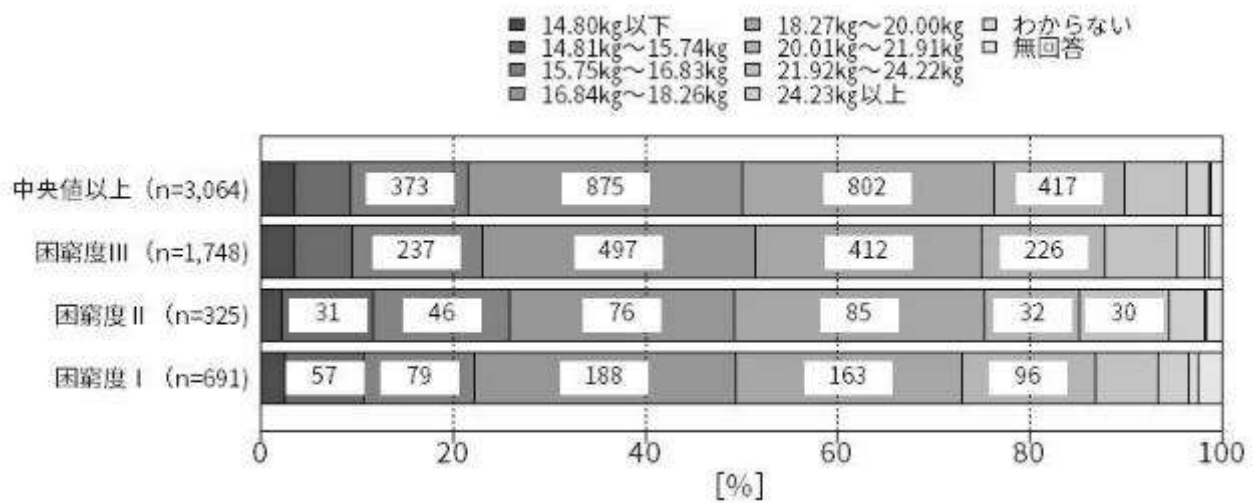


図 127. 困窮度別に見た、現在の体重＜男子＞

困窮度と現在の体重（男子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市大正区＞

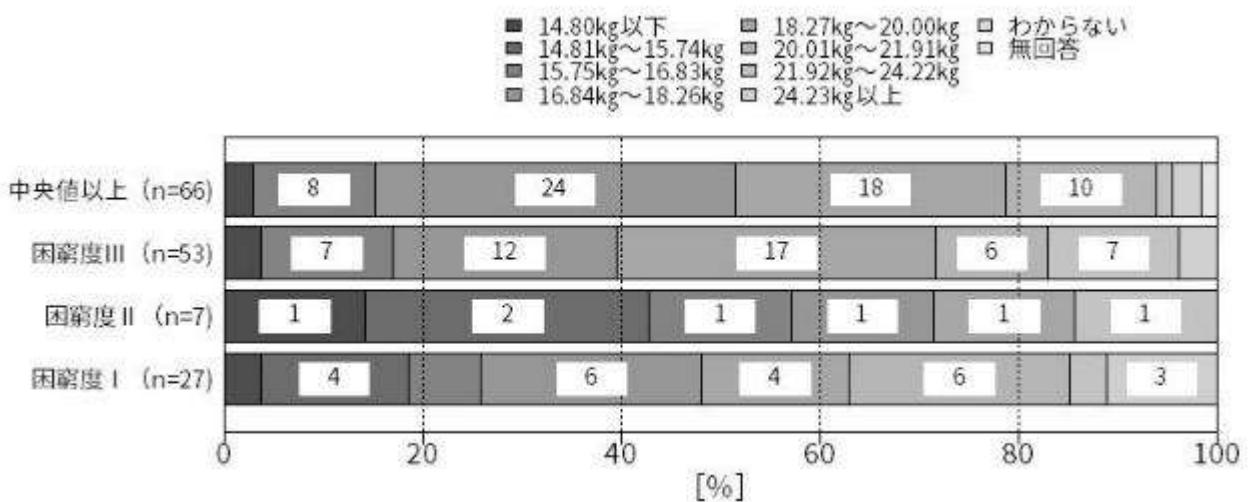
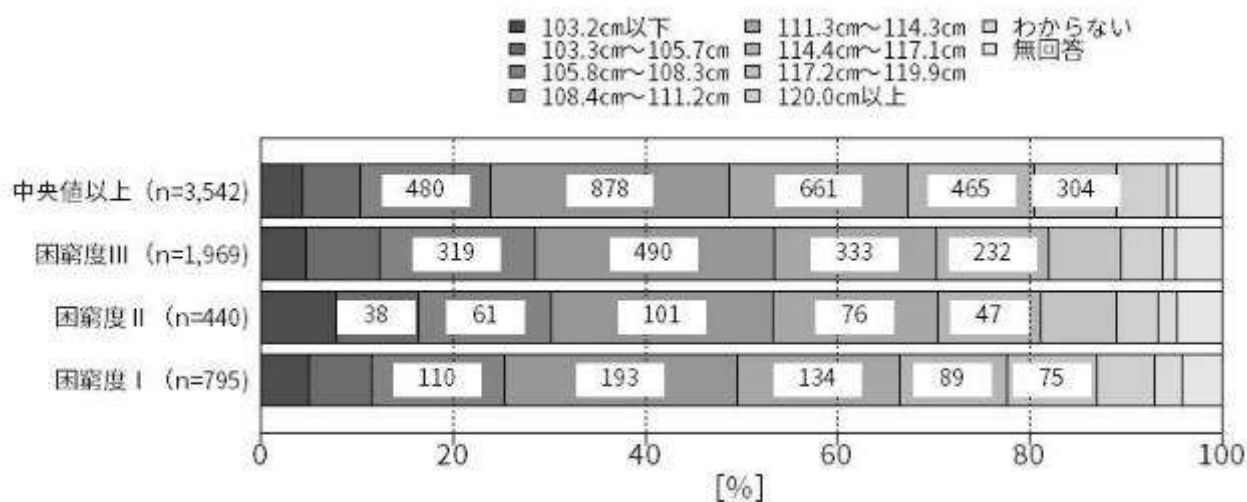


図 128. 困窮度別に見た、現在の体重＜女子＞

困窮度と現在の体重（女子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市大正区＞

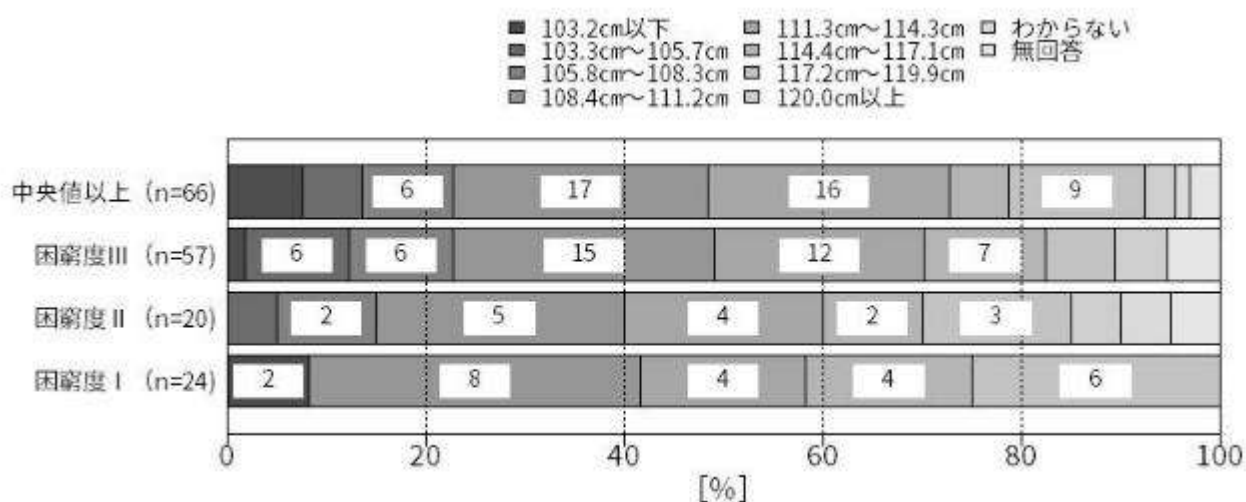
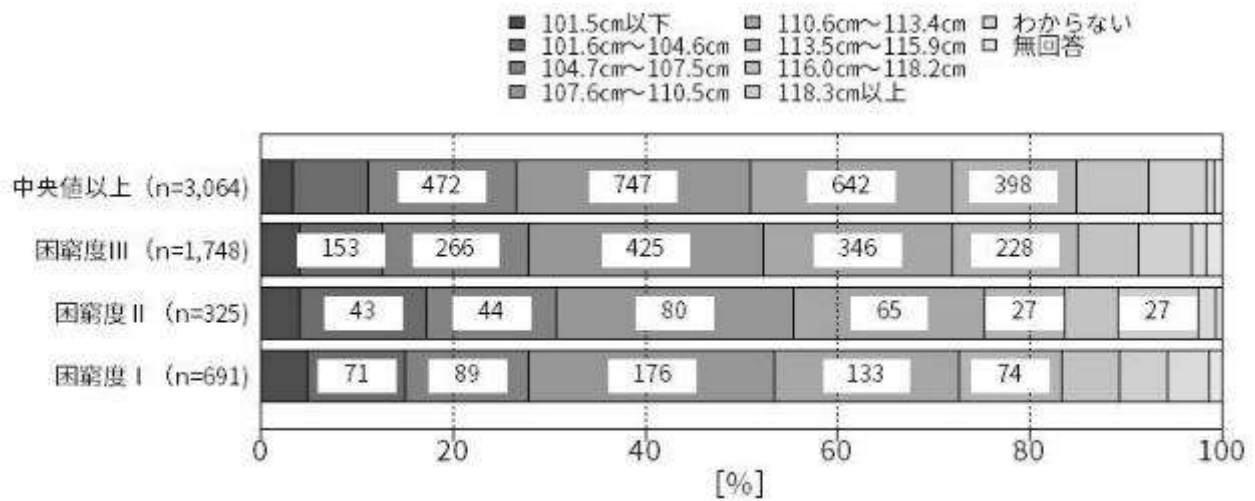


図 129. 困窮度別に見た、現在の身長＜男子＞

困窮度によって大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市大正区＞

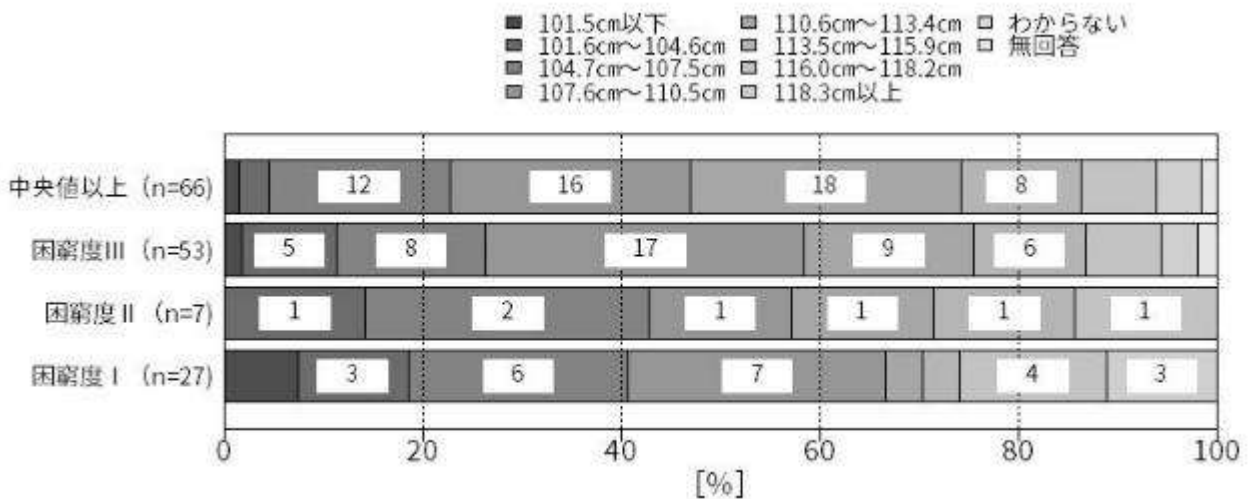
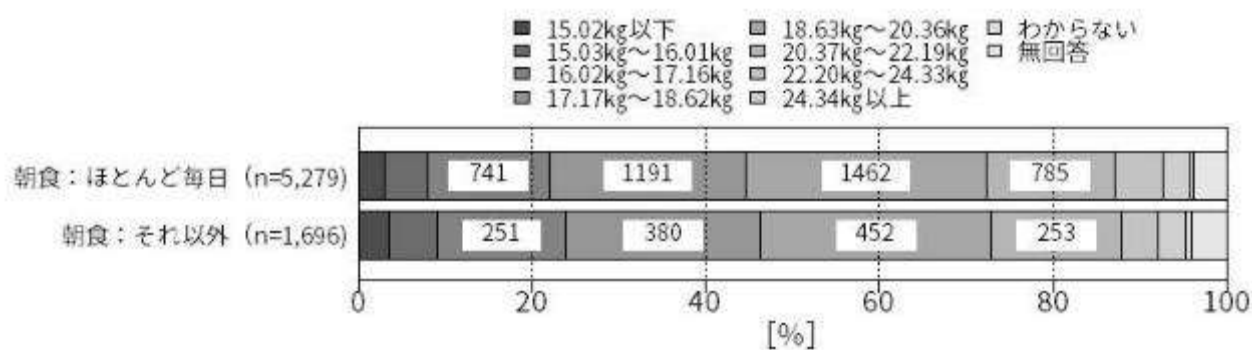


図 130. 困窮度別に見た、現在の身長＜女子＞

困窮度が厳しくなるにしたがって、現在の身長が低い女子の割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

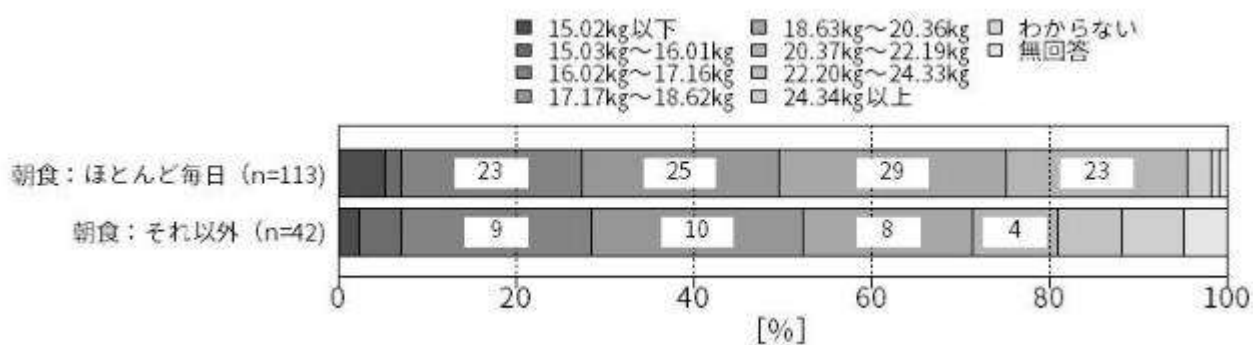
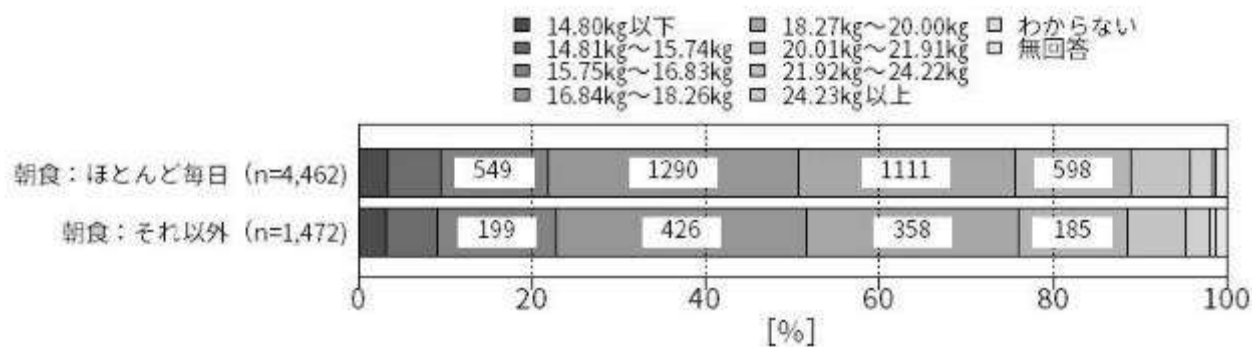


図 131. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食の頻度によって大きな差は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

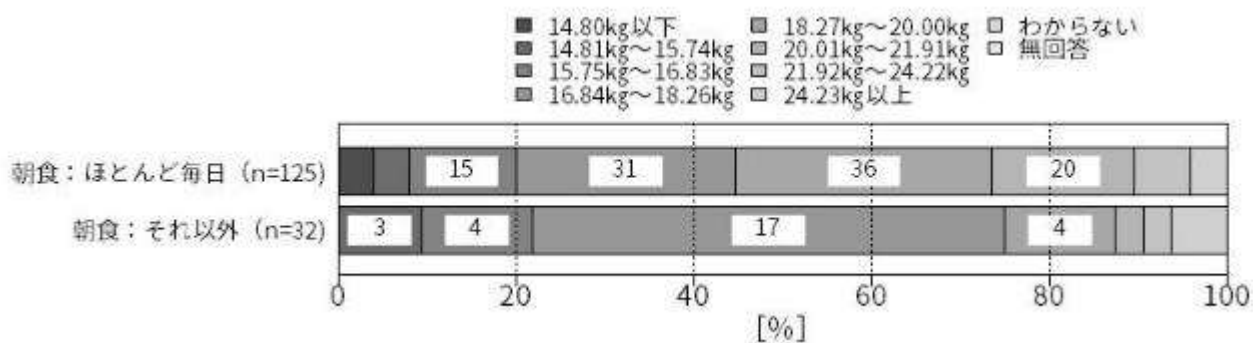
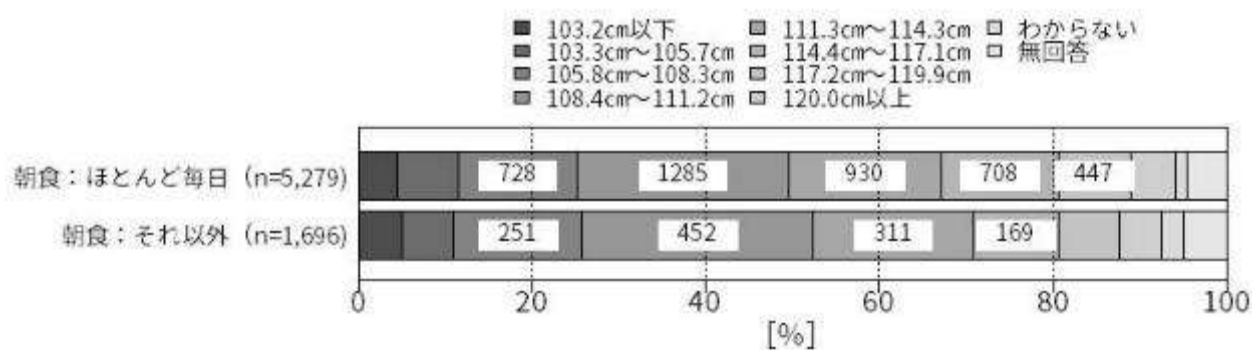


図 132. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食の頻度と女子の体重に関係は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

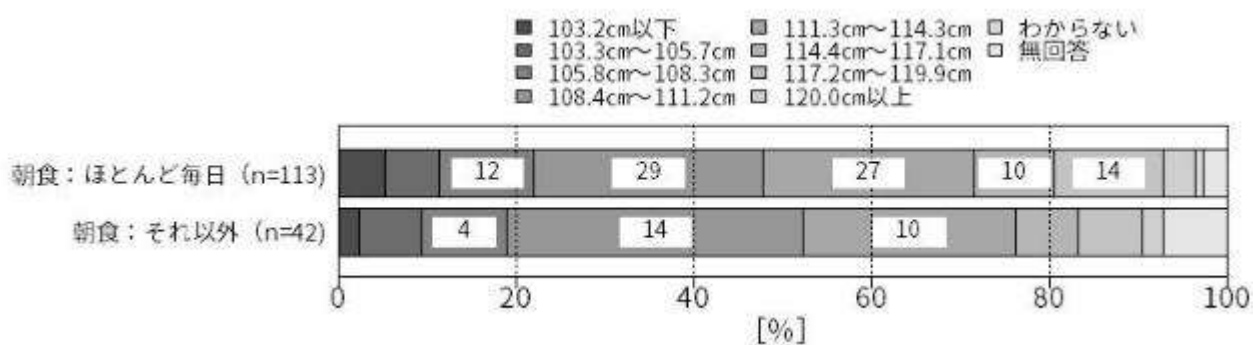
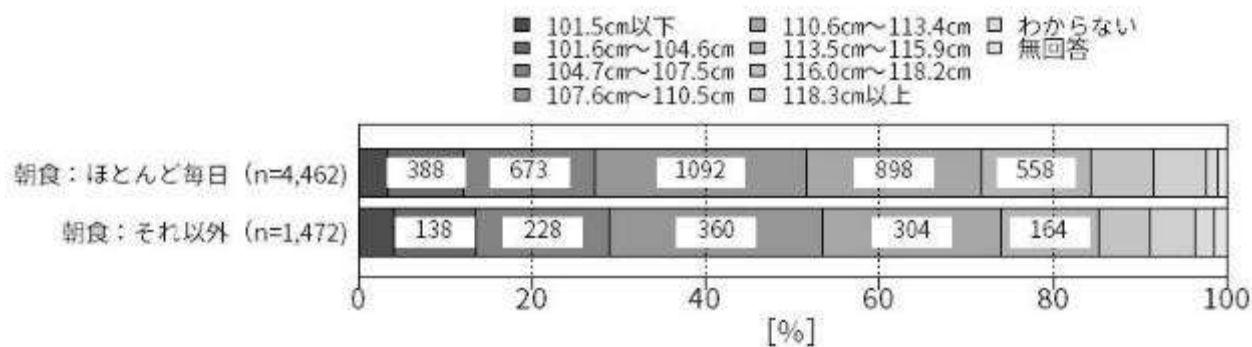


図 133. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食の頻度と男子の身長に関係は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

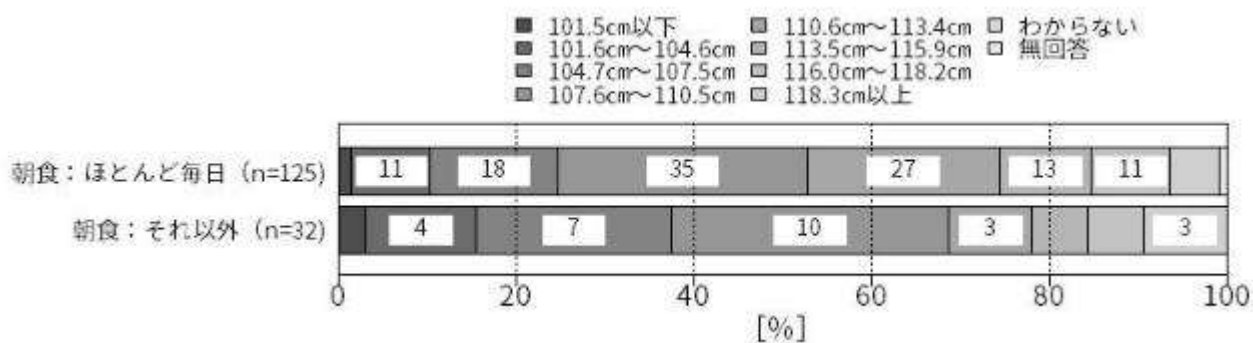
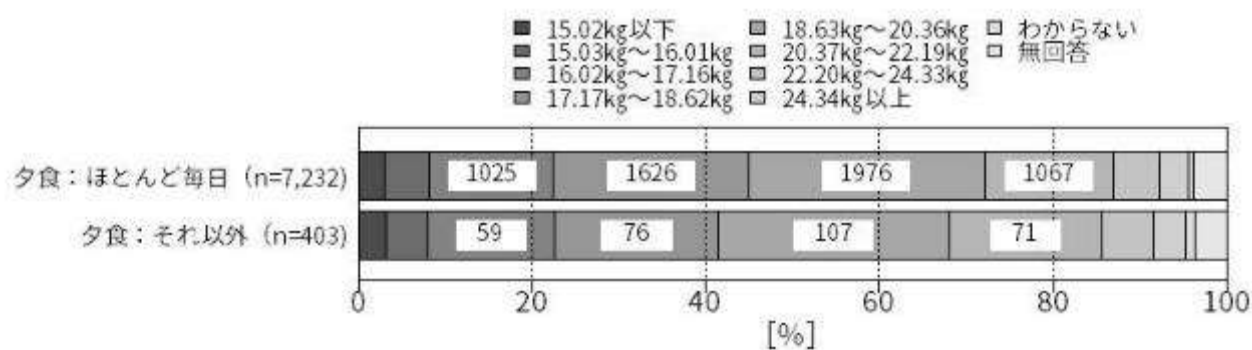


図 134. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食の頻度と女子の身長に関係は見られなかった。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

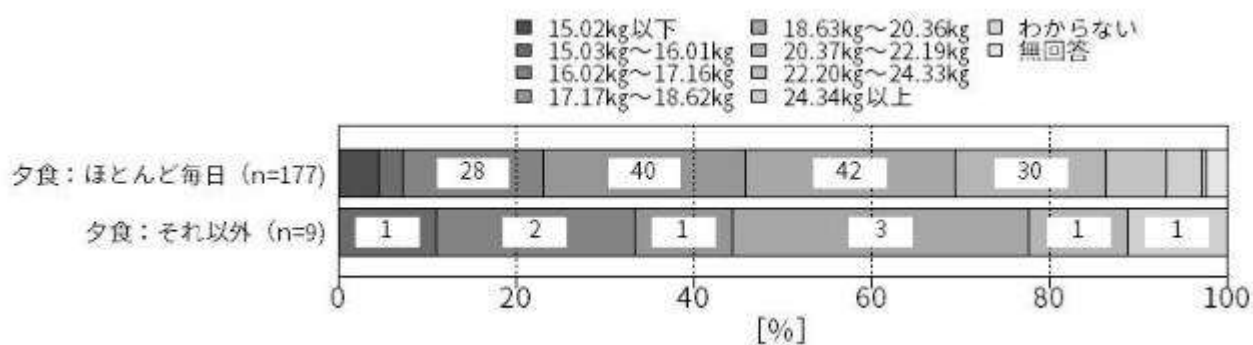
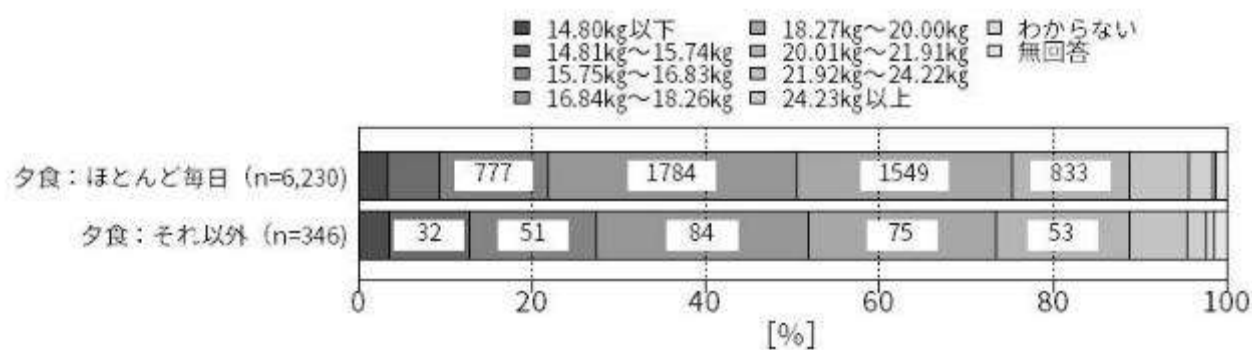


図 135. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食の頻度と男子の体重に関係は見られなかった。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

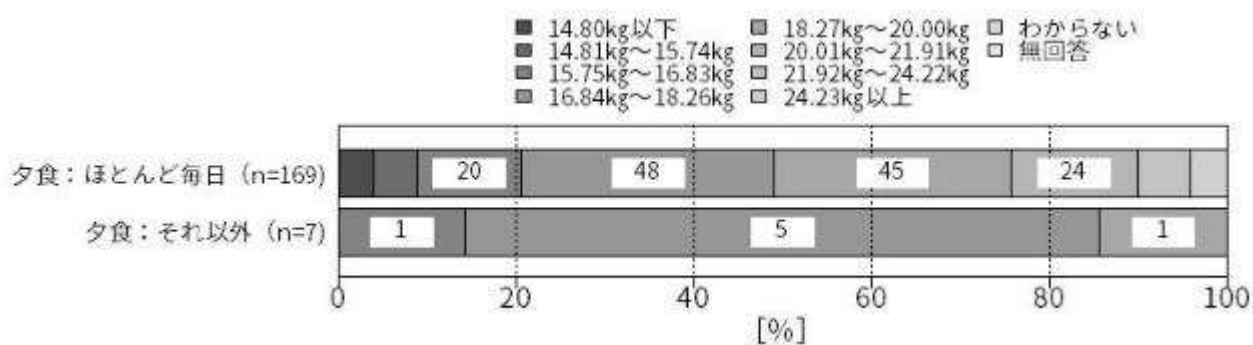
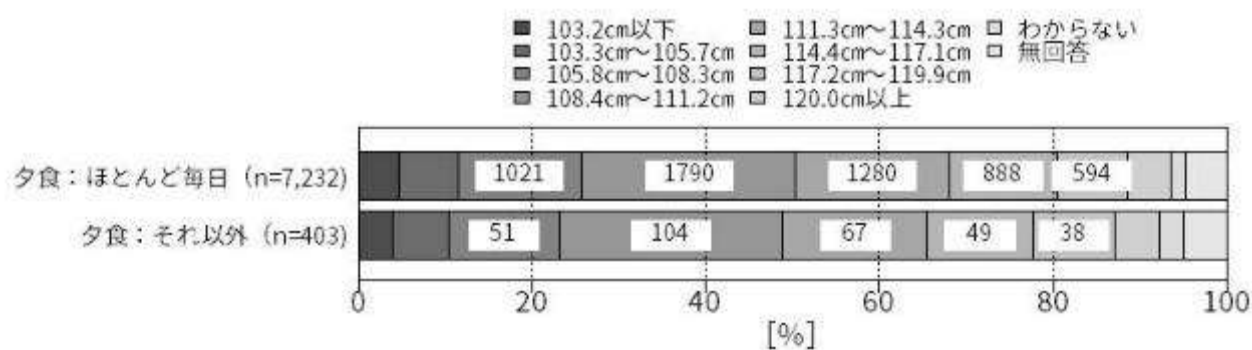


図 136. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食を毎日食べるわけではない子どもは人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

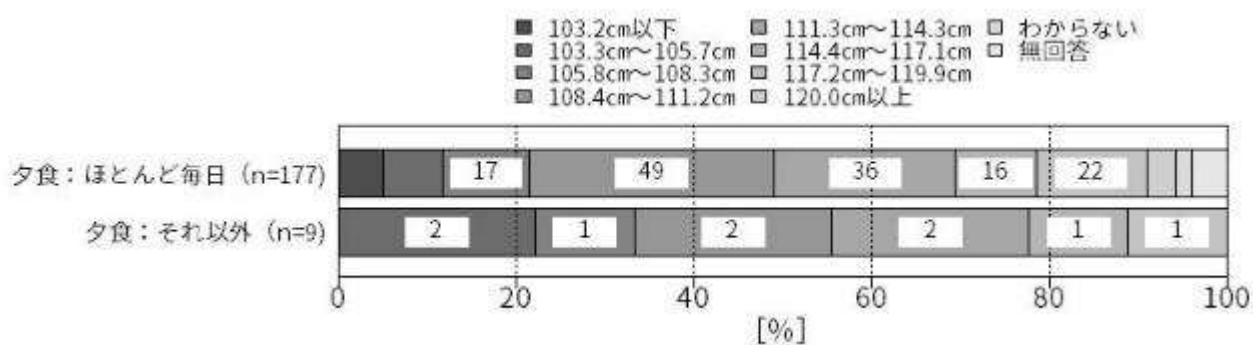
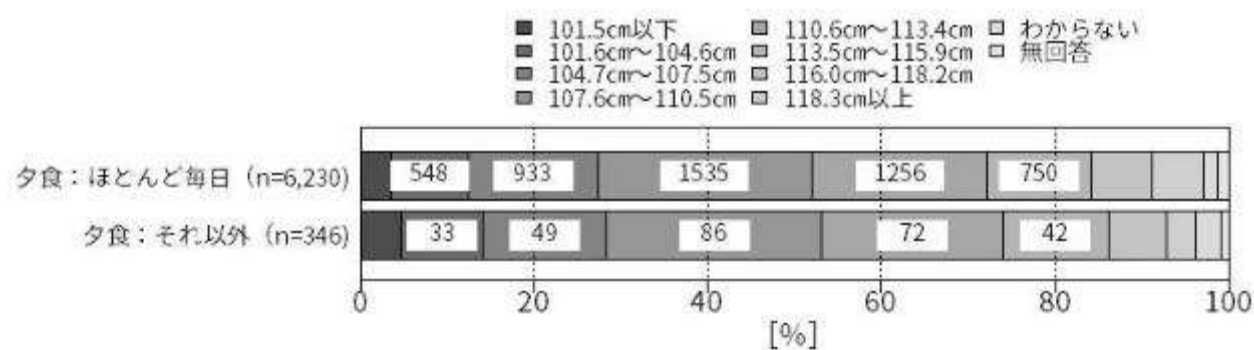


図 137. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食を毎日食べるわけではない子どもは人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

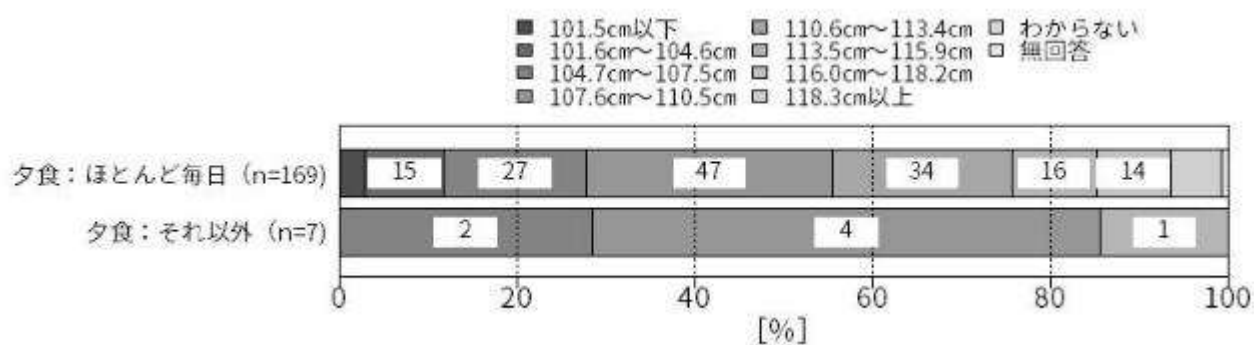
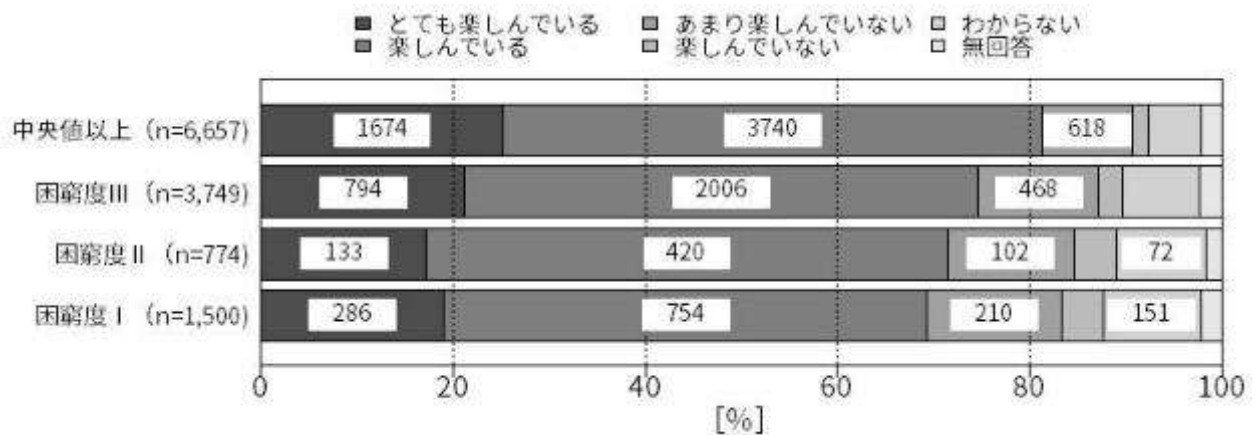


図 138. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食を毎日食べるわけではない子どもは人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 36-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

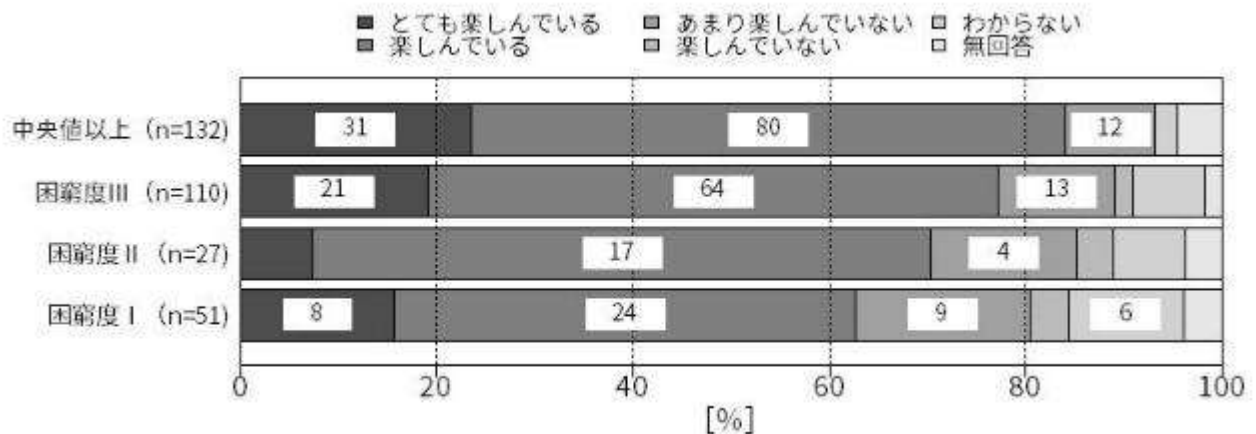
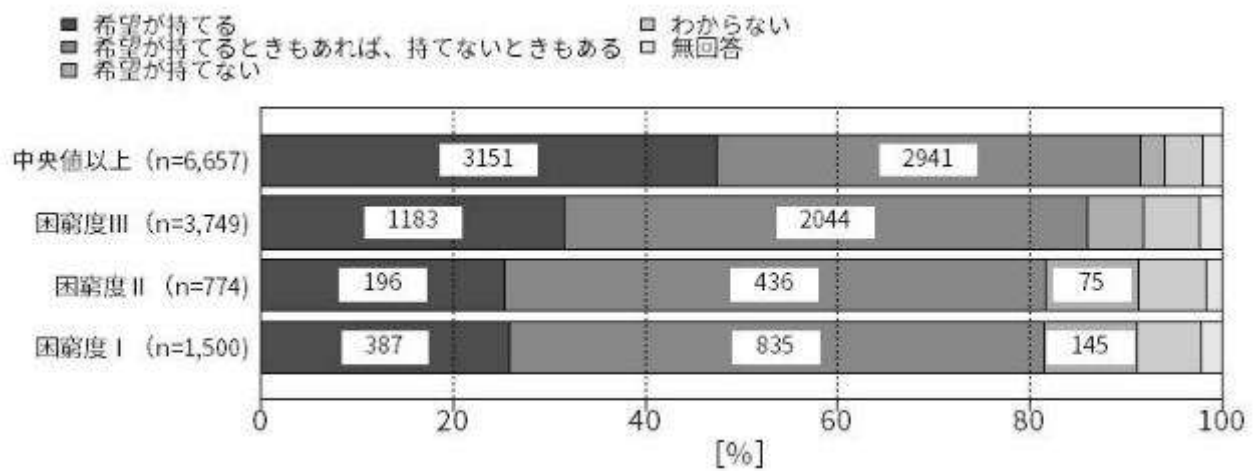


図 139. 困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせた割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 62.8%であった。

困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 36-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

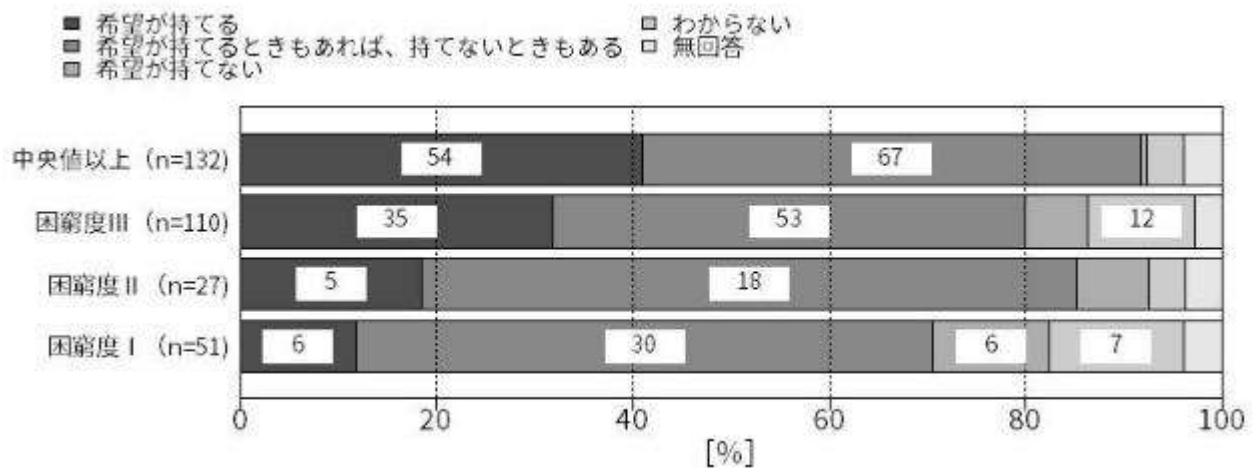


図 140. 困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望

困窮度が厳しくなるにしたがって、「希望が持てる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 11.8%であった。